

オフライン環境の構築と展開 ～バージョン10をご利用の場合～

第4版

2024年7月31日

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

はじめに

- 本資料はセキュリティ管理ツールと管理する端末がインターネット接続ができないオフライン環境でのバージョン10の環境構築手順をまとめた資料となっております。
- ESET、LiveGrid、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Server Security、ESET PROTECTはESET, spol.s r.o の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac OS、OS X は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- 本資料はミラーサーバーとなるサーバーにIISをインストールしていることを前提に手順を記載しております。IISがインストールされていない場合は以下のWebページを参考にIISのインストールを行ってください。
＜IISを利用して検出エンジンを公開する手順＞
URL : https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business
※「2. IIS環境の構築 ＜ Webサーバーでの作業 ＞」の「Step.1 IISのインストール」を行ってください。
- 本資料で使用している、各プログラム名の略称は以下の通りです。
 - EES= ESET Endpoint Security
 - EEA= ESET Endpoint アンチウイルス
 - ESSW= ESET Server Security for Microsoft Windows Server
 - EP= ESET PROTECT
 - EM エージェント= ESET Management エージェント

目次

1. 構成

2. 構築

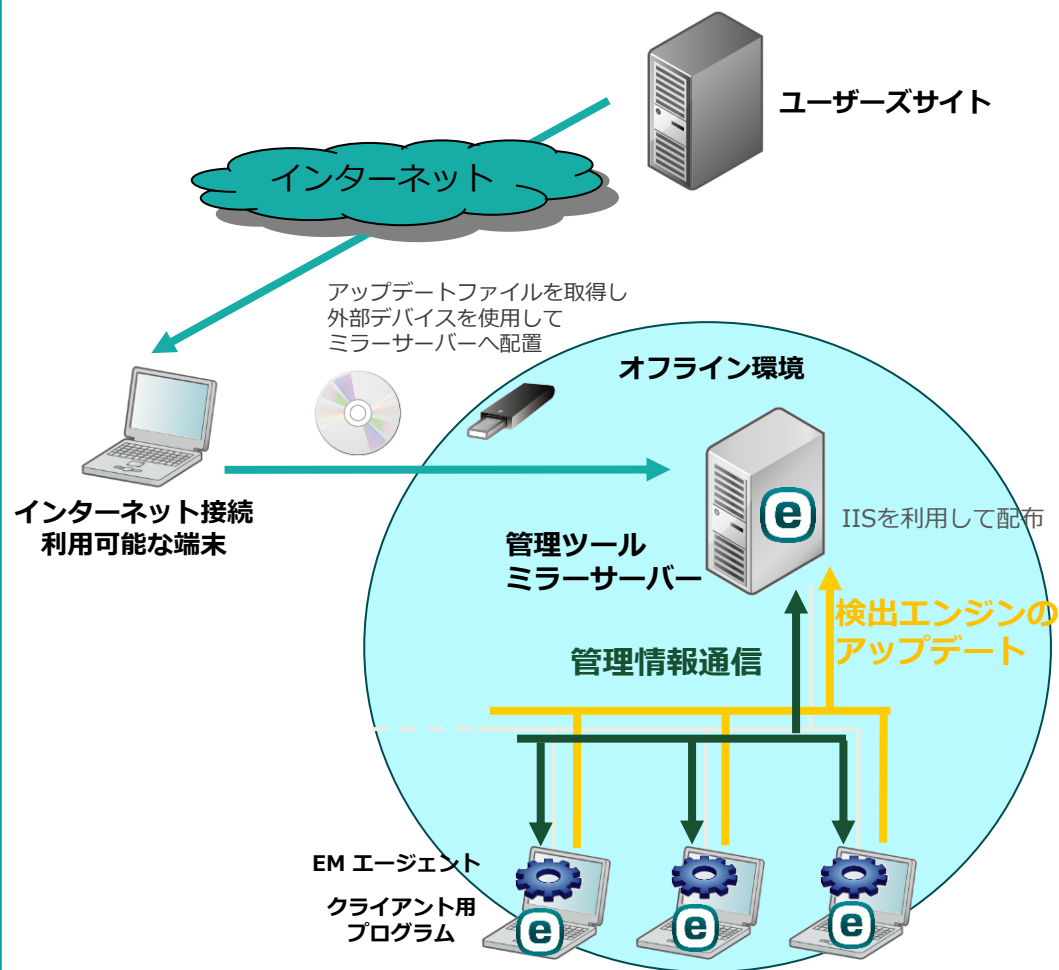
- フロー
- 事前準備
- ミラーサーバーの構築
- セキュリティ管理ツールの構築
- サーバーのセットアップ

3. 展開

- フロー
- 事前準備
- インストーラーの準備
- インストーラーの実行
- 確認作業

1. 構成

本資料は以下の構成を前提としております。



構成

- 1台のサーバー機で管理ツールとミラーサーバーを運用
- サーバーとクライアントは全てオフライン環境
- ミラーサーバーで使用するファイルは定期的に外部デバイスなどを利用して、ミラーフォルダに配置する
- 管理台数は5000クライアントまで

サーバーの利用プログラム

- ウイルス対策 : ESSW V10.0
- 管理機能 : EP V10.1
- データベース : MS SQL Express
- ミラー機能 : ユーザーズサイトから取得したファイルをIISで公開

クライアントの利用プログラム

- ウイルス対策 : EES V10.1 または EEA V10.1
- 管理機能 : EM エージェント V10.1

2. 構築（フロー）

管理ツール兼ミラーサーバーを構築するフローは以下となります。

事前準備

- ① 検出エンジンとインストーラーのダウンロード
- ② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

ミラーサーバーの構築

- ③ ミラーフォルダの作成
- ④ IISの設定

管理ツールの構築

- ⑤ ESSWのインストール
- ⑥ EP のインストール

サーバーのセットアップ

- ⑦ ライセンスの登録
- ⑧ EPのアップデート先変更
- ⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成
- ⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

2. 構築（事前準備）

① 検出エンジンとインストーラーのダウンロード

ユーザズサイトより、検出エンジンとインストーラーを取得し、外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。【ユーザズサイト】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/87?site_domain=business

● 検出エンジン

■ クライアント用プログラムの検出エンジン

「検出エンジン(ウイルス定義データベース)」

- 「検出エンジンダウンロードページ」
- 「クライアント用プログラムの検出エンジン ダウンロード」
- 「Windows の「バージョン10」向けクライアント用プログラムの場合」

※「最新」と記載がある検出エンジンをダウンロードしてください。

■ オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン

「検出エンジン(ウイルス定義データベース)」

- 「検出エンジンダウンロードページ」
- 「セキュリティ管理ツールの検出エンジン ダウンロード」

● インストーラー

■ ESSWのインストーラー

「プログラム/マニュアル」

- 「クライアント用プログラム」
- 「Windows Server向け」
- 「ESET Server Security for Microsoft Windows Server (Ver.10.X)」
- 「プログラム」

■ EPのオールインワンインストーラー

「プログラム/マニュアル」

- 「オンプレミス型セキュリティ管理ツール (ESET PROTECT) 」
- 「ESET PROTECT」
- 「ESET PROTECT (Windows) (Ver.10.1.X.X) 」
- 「オールインワンインストーラー」

2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(1) ESET PROTECT HUB（<http://protecthub.eset.com/>）へログインし、オフラインライセンスファイルのダウンロードを行います。

※ESET PROTECT HUB(EPH)へログインする際は、アカウント作成時に登録された電子メールアドレスとパスワードが必要です。
※EPHを開設されていない場合は下記サポートサイトをご確認ください。

ESET PROTECT HUBについて < https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/29662?site_domain=business>



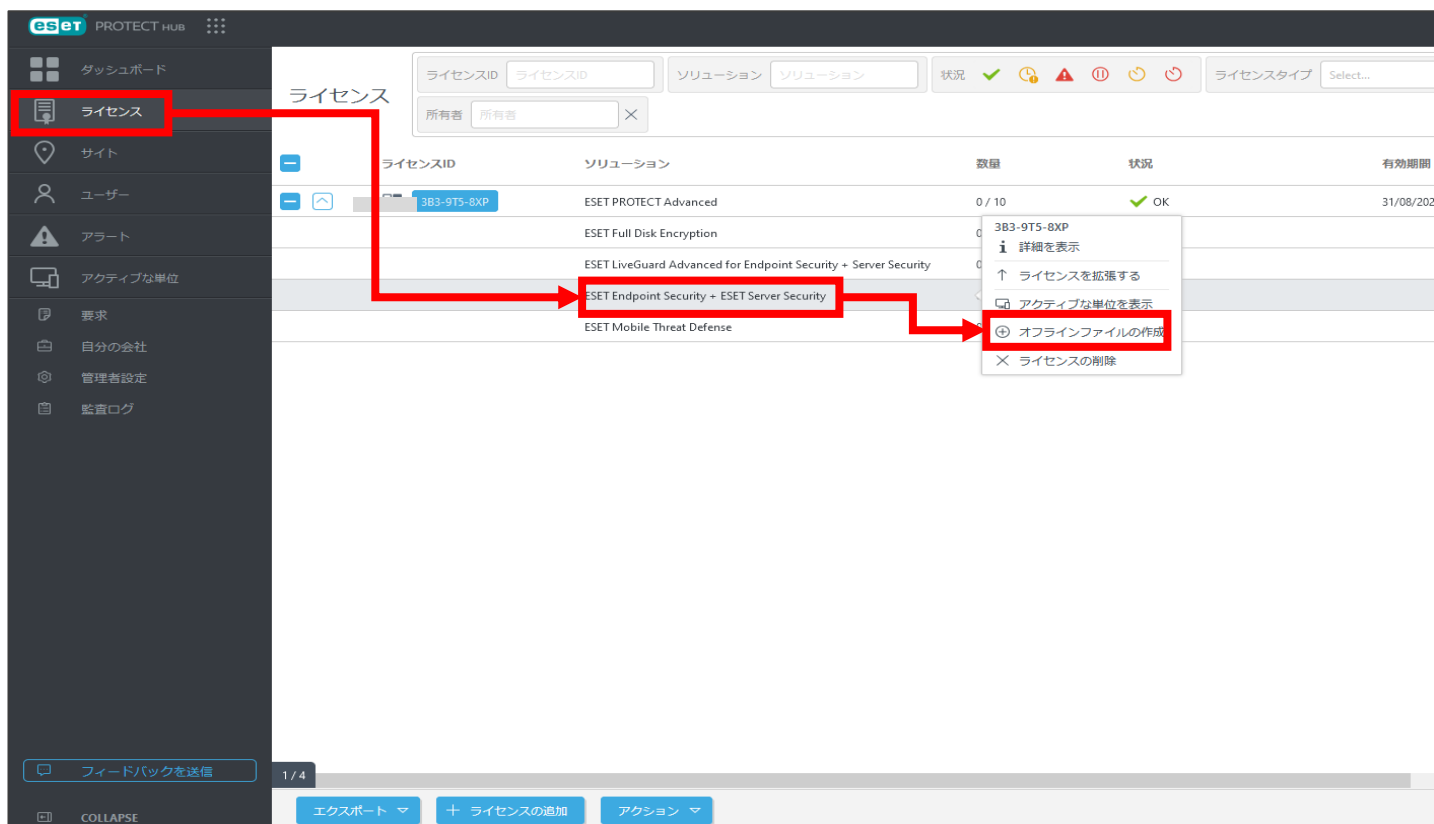
※「ESET Business Account」を使用する場合
上記を利用したアクティベーション方法は下記よりご確認ください。
クライアント用プログラムの製品のアクティベーションをおこなうには？
<https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/48?site_domain=business>

※詳細や開設方法につきましては下記サポートサイトをご参照ください。
◇ ESET Business Accountについて
<https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/19554?site_domain=business>

2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(2)画面左側のメインメニューより「ライセンス」画面をクリックします。使用するライセンスを選択し、「オフラインファイルの作成」をクリックします。

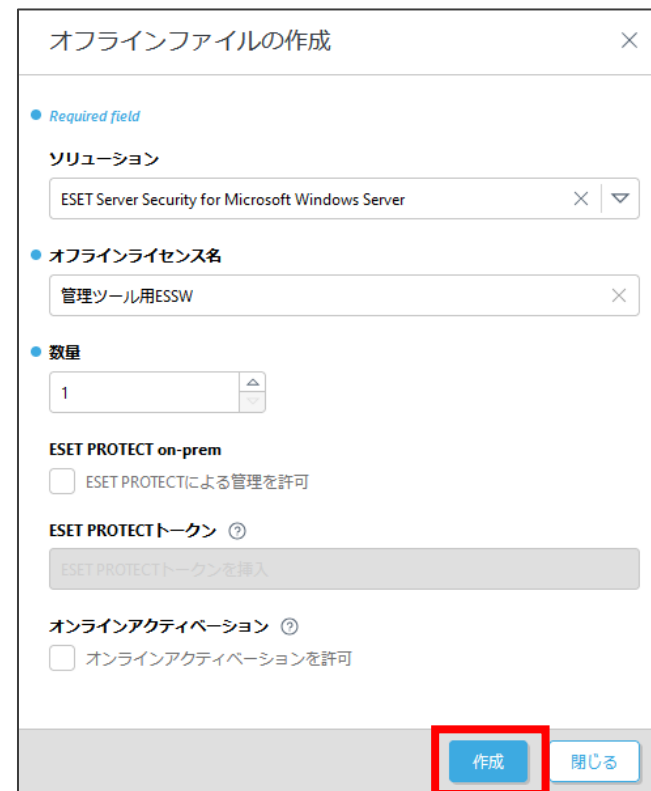


2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(3)以下を参考に設定を入力し、「作成」をクリックします。

項目	設定内容
ソリューション	ESET Server Security for Microsoft Windows Server
オフラインライセンス名	任意（例：管理ツール用ESSW）
数量	1
ESET PROTECT on-prem	チェックなし
ESET PROTECT トークン	入力なし
オンラインアクティベーション	チェックなし



オフラインファイルの作成

● Required field

ソリューション
ESET Server Security for Microsoft Windows Server

● オフラインライセンス名
管理ツール用ESSW

● 数量
1

ESET PROTECT on-prem
☐ ESET PROTECTによる管理を許可

ESET PROTECT トークン
ESET PROTECT トークンを入力

オンラインアクティベーション
☐ オンラインアクティベーションを許可

作成 閉じる

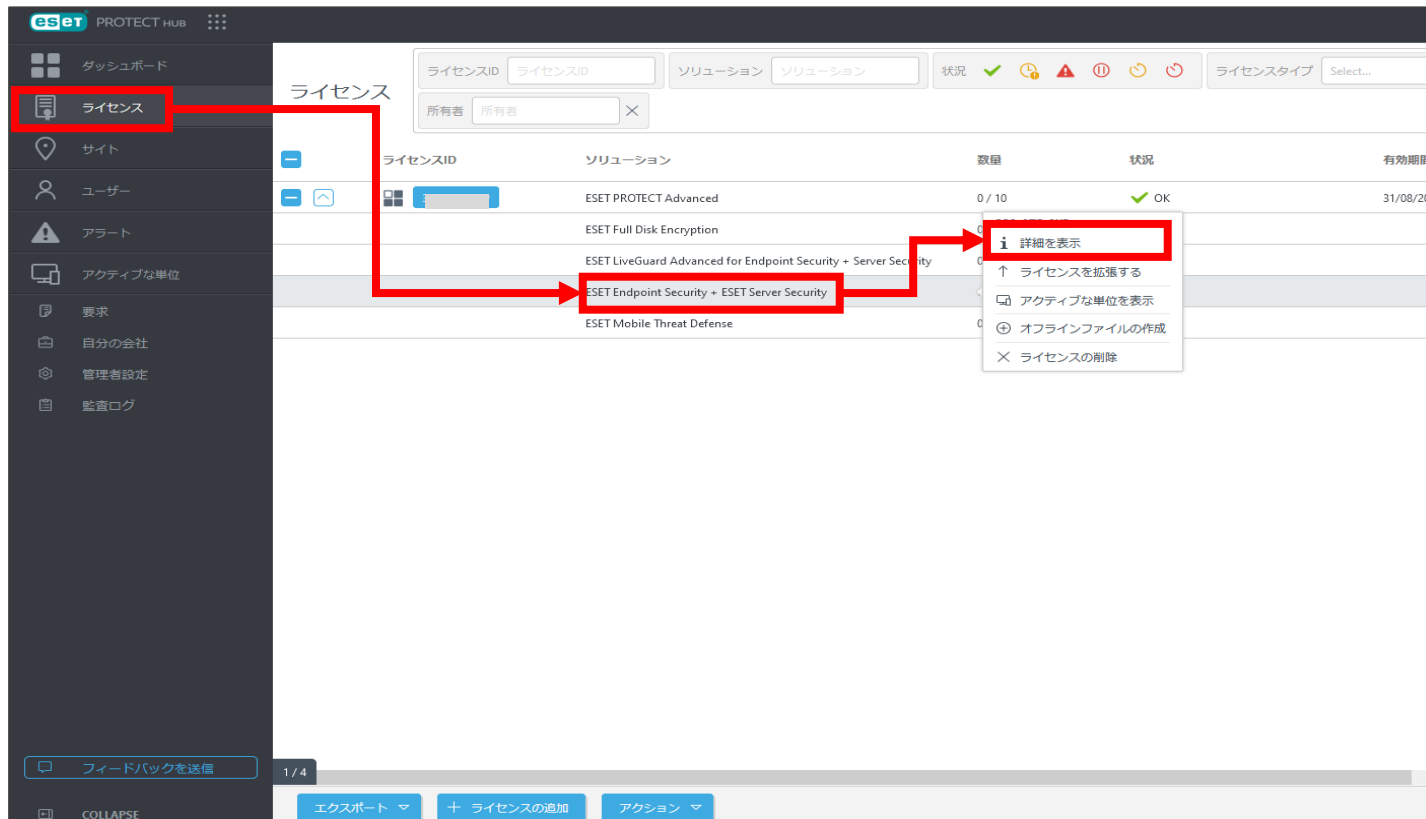
※本手順では、管理ツール用のESSW1台分のオフラインライセンスファイルを作成しておりますが、設定内容を変更することにより、他のセキュリティ製品のオフラインライセンスファイルを作成することが可能です。手順については以下のサポートサイトをご参照ください。
 <オフラインライセンスファイルのダウンロード方法>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4327?site_domain=business

2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

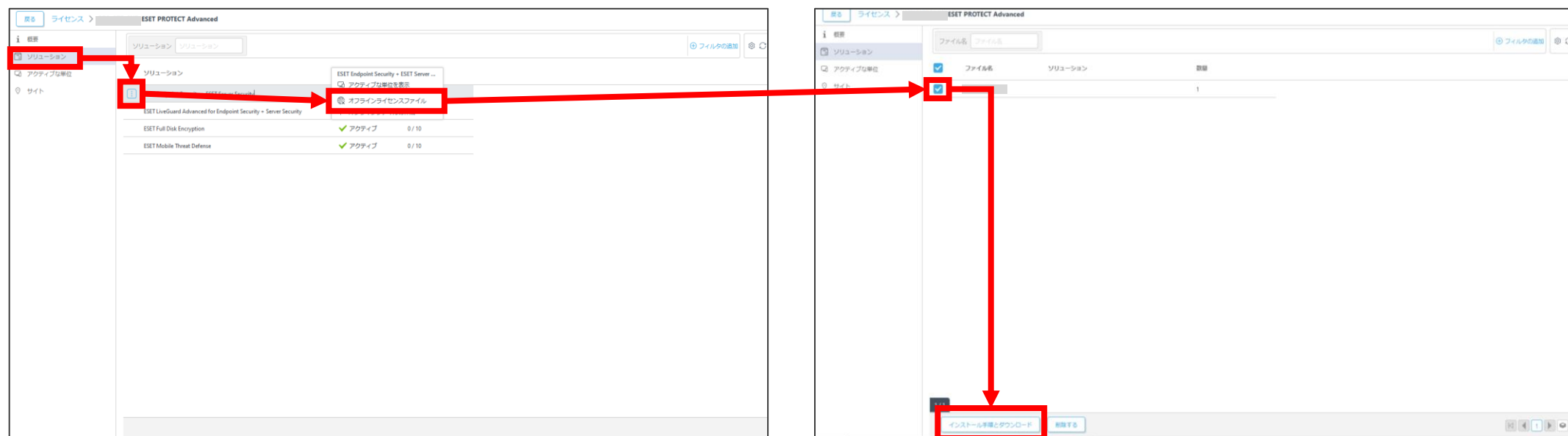
(4)画面左メニューの「ライセンス」へ移動し、「オフラインライセンスファイル」を発行したライセンスをクリックし、「詳細を表示」を選択します。



2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

- (5) 「ソリューション」をクリックし、オフラインライセンスファイルを発行したソリューションを選択し、「:」>「オフラインライセンスファイル」の順にクリックします。
発行したオフラインライセンスファイルを選択し、「インストール手順とダウンロード」をクリックし、ダウンロードします。



2. 構築（事前準備）

② 管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(6)任意の場所(例：デスクトップ)にファイルを保存し、オフラインライセンスファイルがダウンロードされていることをご確認ください。

※ダウンロードされたオフラインライセンスファイルは外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。

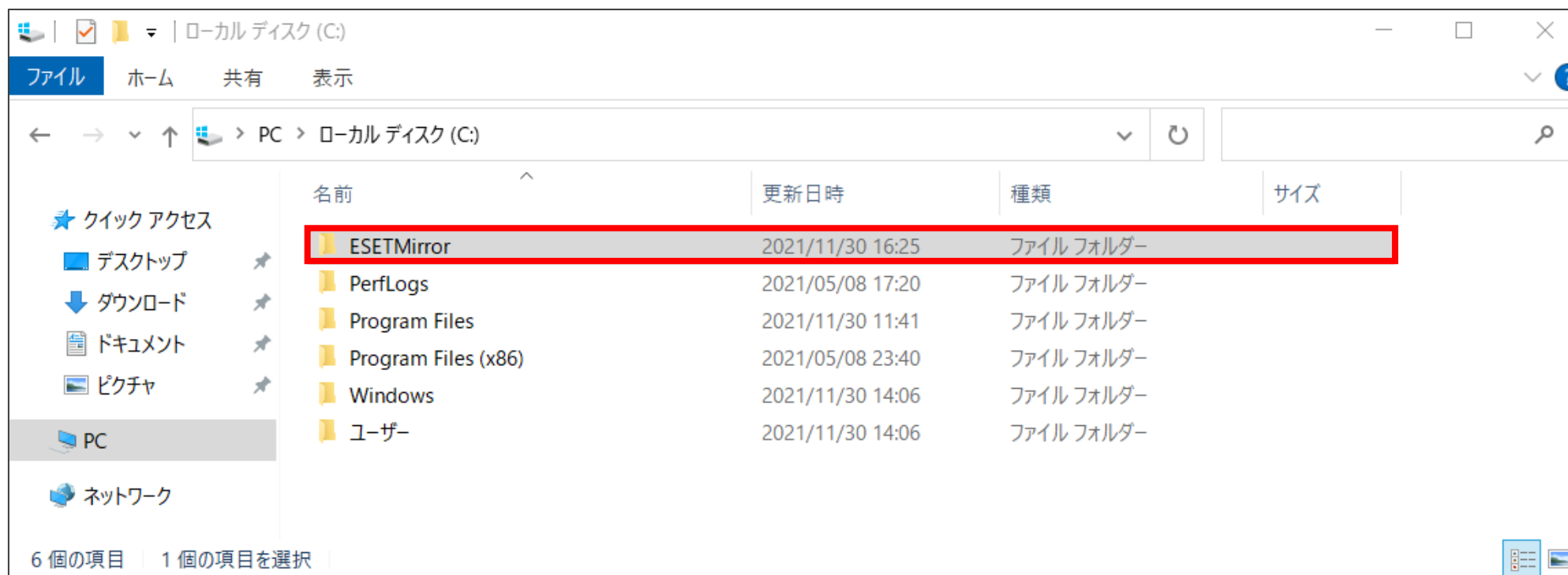


以上で、事前準備は終了となります。

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(1) Cドライブ直下に「ESETMirror」フォルダを作成します。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(2)作成した「ESETMirror」フォルダ配下に「ess10_upd」と「era_upd」の2つのフォルダを作成します。



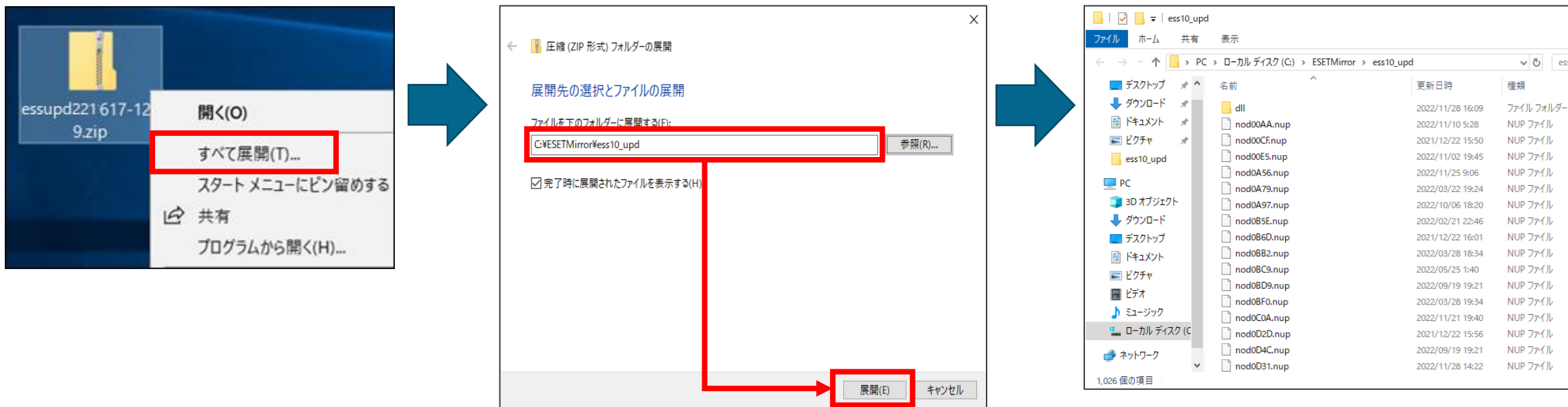
2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(3)事前準備で用意したWindows「バージョン10」向けの「クライアント用プログラムの検出エンジン」を手順2で作成した「ess10_upd」フォルダに展開します。

※「era_upd」に展開しないように注意してください。

※クライアント用プログラムの検出エンジン(ZIPファイル)のファイル名は「**essupd**」で始まります。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(4) 事前準備で用意した「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を手順2で作成した「era_upd」フォルダに展開します。

※「ess10_upd」に展開しないように注意してください。

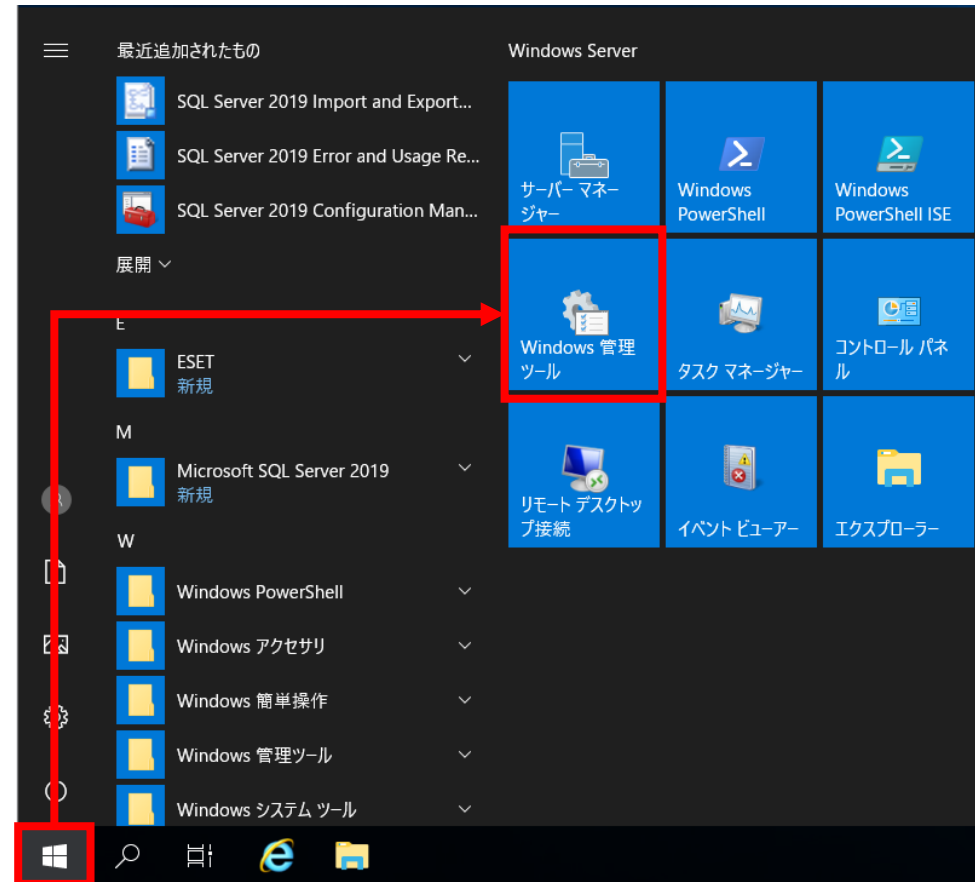
※オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン(ZIPファイル)のファイル名は「**eraupd**」で始まります。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

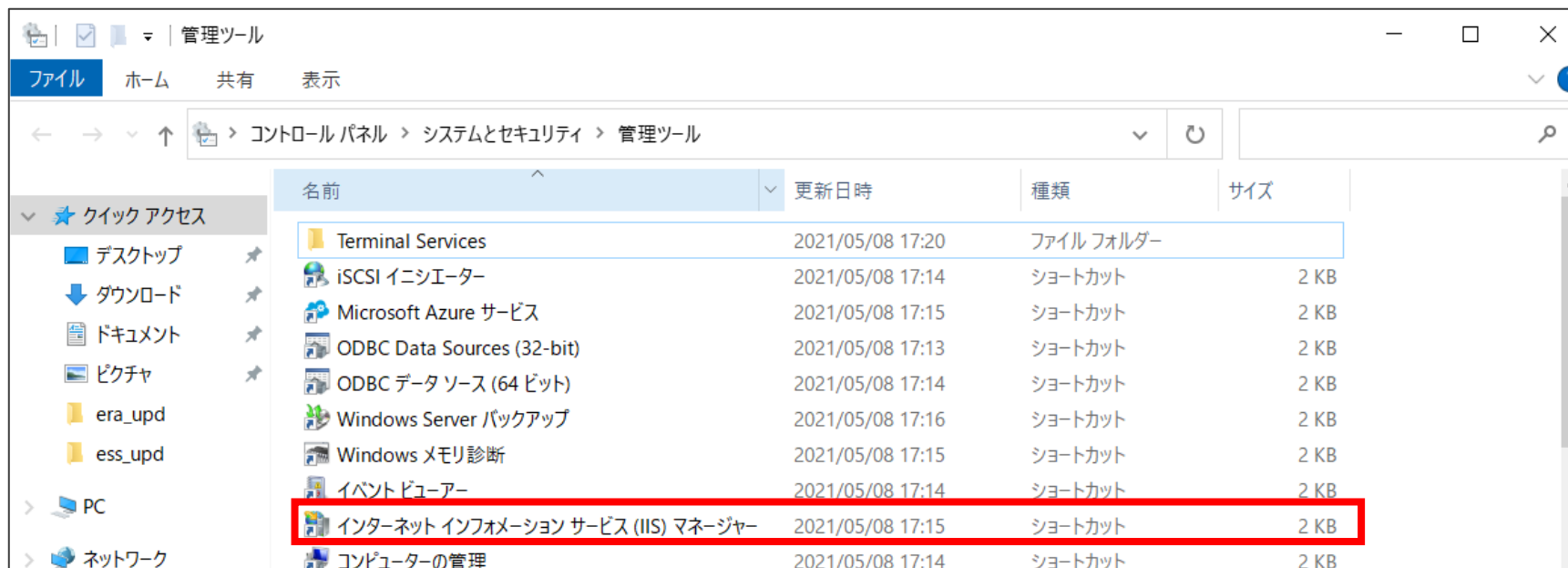
(1) 「スタート」 → 「Windows 管理ツール」 をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(2) 「インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー」を開きます。



※IISがインストールされていない場合、IISマネージャーは表示されません。そのため、以下のWebページを参考にIISをインストールしてください。

<IISを利用して検出エンジンを公開する手順>

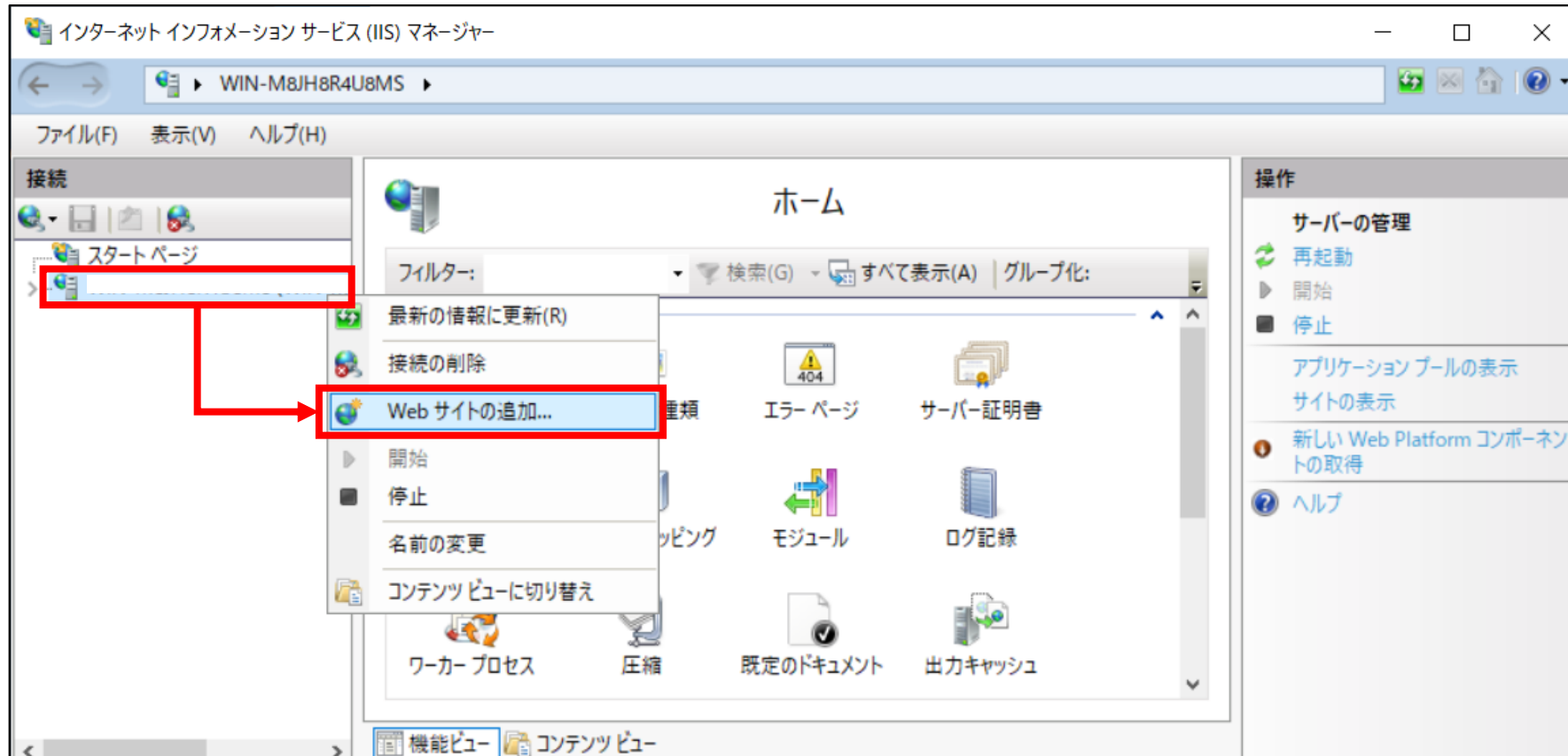
URL : https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business

※「2. IIS環境の構築 < Webサーバーでの作業 >」の「Step.1 IISのインストール」を行ってください。

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(3)画面左側からサーバー名を右クリックし、「Webサイトの追加…」をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(4)以下の項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

項目	設定内容
サイト名	ESET mirror
物理パス	C:\ESETMirror
種類	http
IPアドレス	未使用のIPアドレスすべて
ポート	Webサーバーの動作ポート(例：2221)
ホスト名	空欄

Web サイトの追加

サイト名(S): ESET mirror アプリケーション プール(L): ESET mirror 選択(E)...

コンテンツ ディレクトリ

物理パス(P): C:\ESETMirror ...

パスルー 認証

接続(C)... テスト設定(S)...

バインド

種類(I): http IP アドレス(I): 未使用の IP アドレスすべて ポート(P): 2221

ホスト名(H):

例: www.contoso.com または marketing.contoso.com

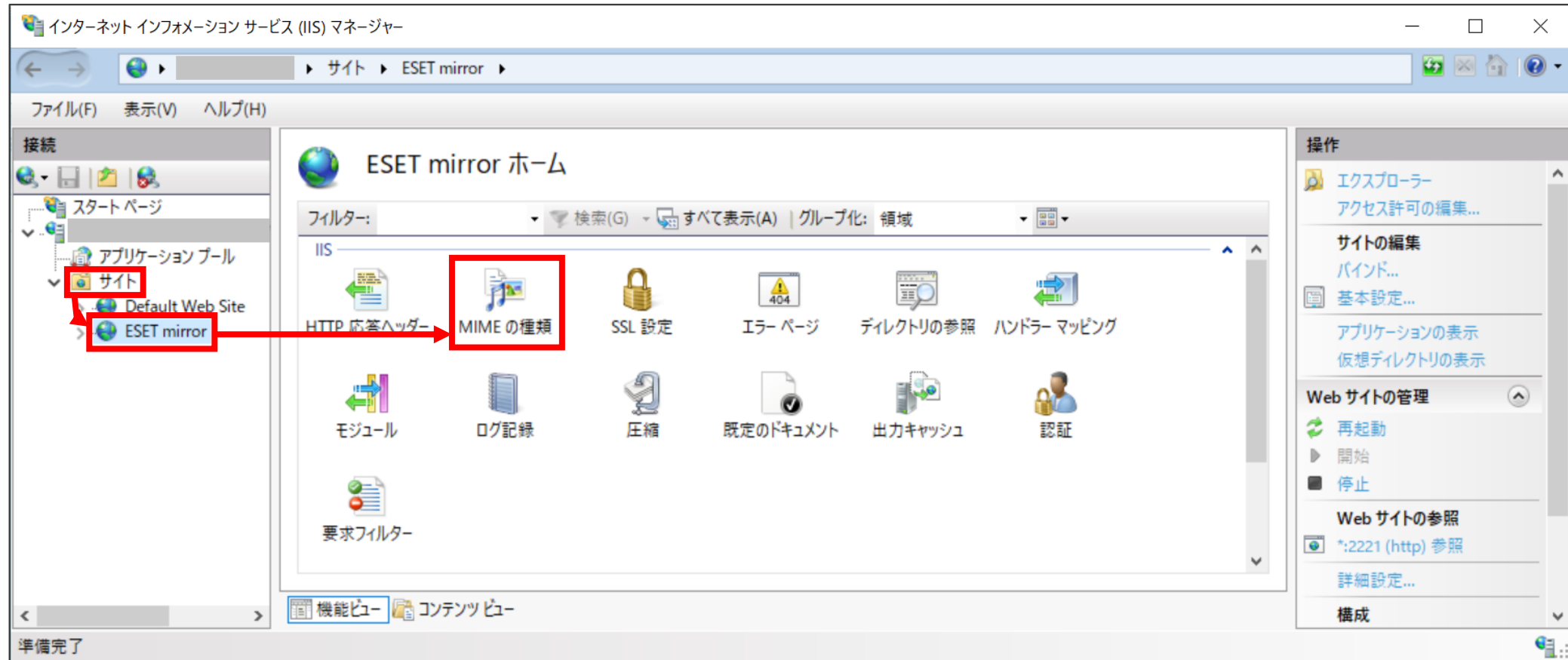
☒ Web サイトを直ちに開始する(M)

OK キャンセル

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

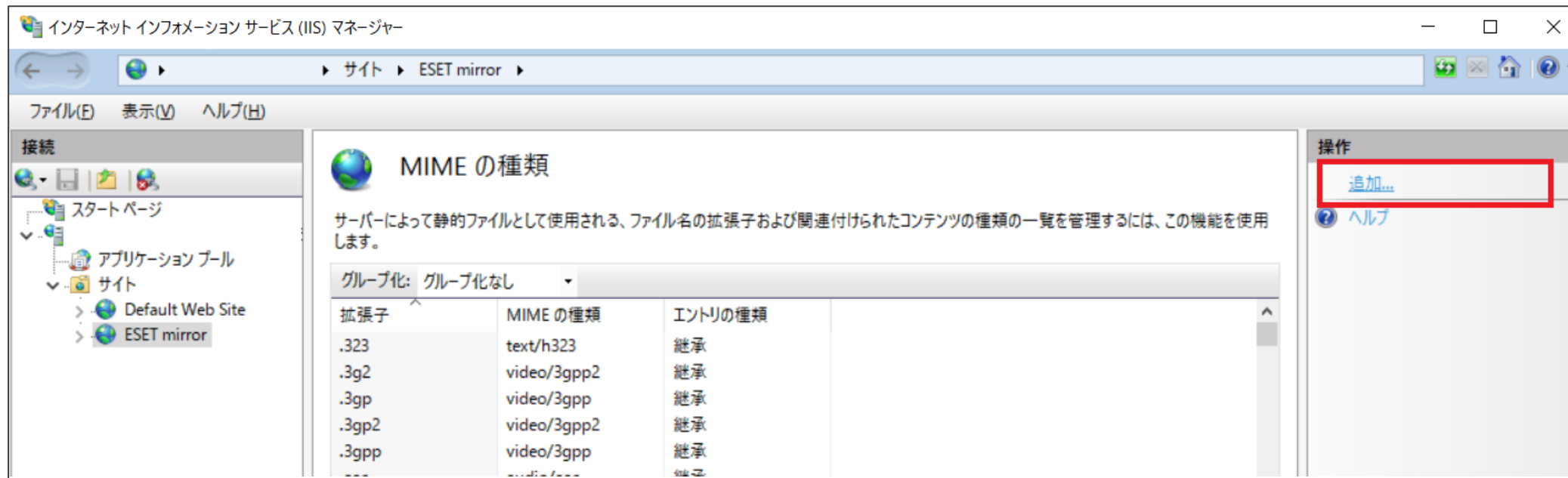
(5)画面左側から「サイト」→「ESET mirror」をクリックし、「MIMEの種類」をダブルクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(6)画面右側の「操作」から「追加…」をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(7)以下の項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

項目	設定内容
ファイル名の拡張子	*
MIMEの種類	application/octet-stream

MIME の種類の追加

ファイル名の拡張子(E):
*

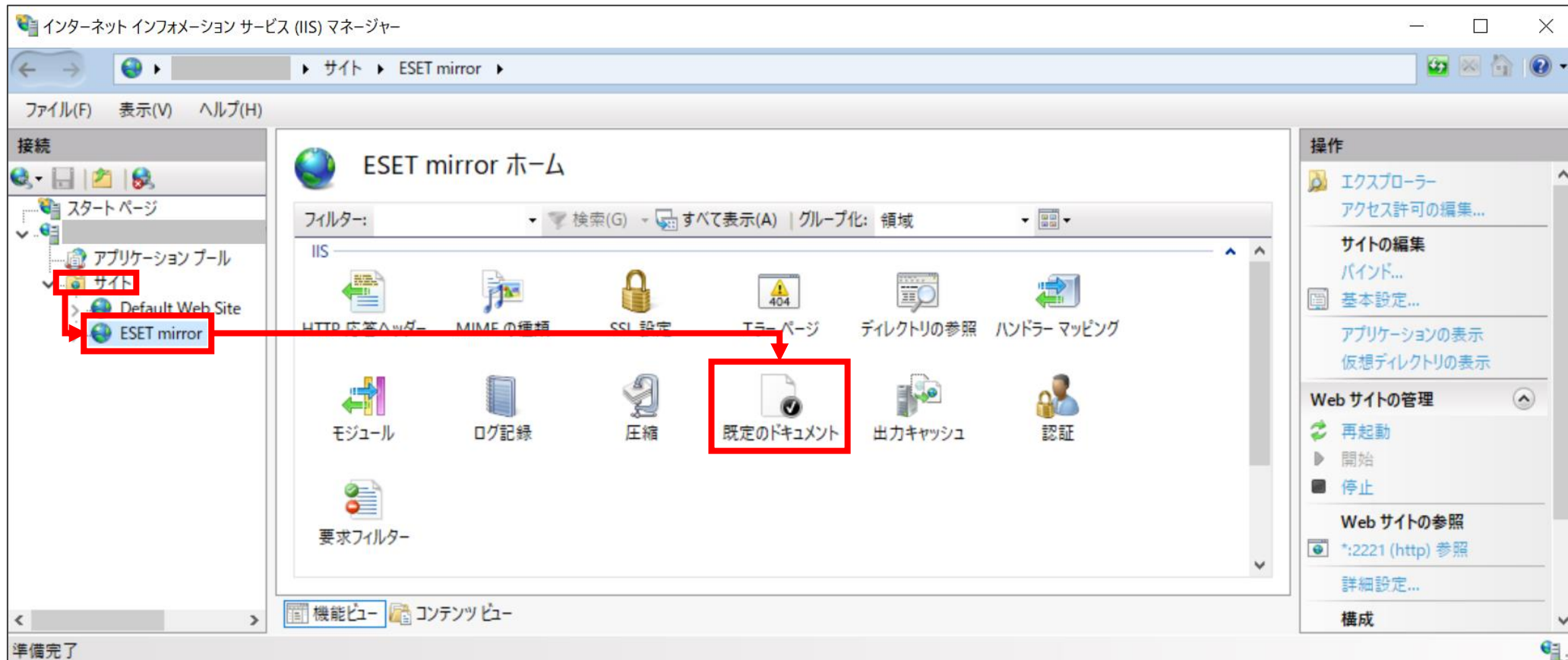
MIME の種類(M):
application/octet-stream

OK キャンセル

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

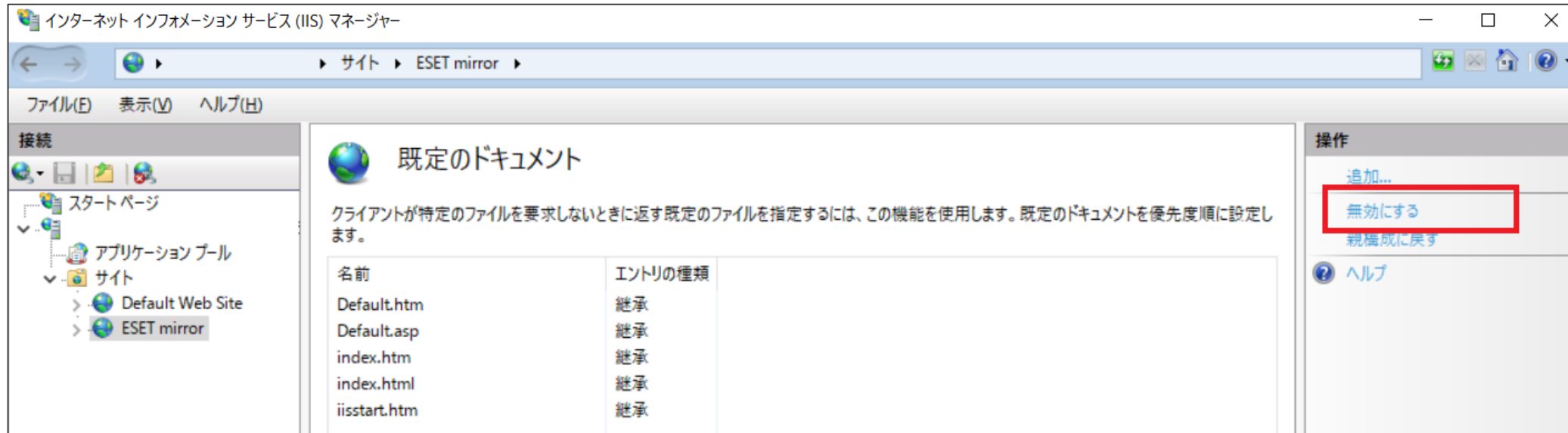
(8)画面左側の「サイト」→「ESET mirror」をクリックし、「既定のドキュメント」をダブルクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(9)画面右側の「操作」から「無効にする」をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(10) Webブラウザを起動し、URLに以下を入力して、「クライアント用プログラムの検出エンジン」と「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」のそれぞれの「update.ver」の内容が確認できること(またはダウンロードできること)を確かめます。

- Windows「バージョン10」向けのクライアント用プログラムの検出エンジン
`http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:”ミラーサーバーの動作ポート”/ess10_upd/update.ver`
- オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン
`http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:”ミラーサーバーの動作ポート”/era_upd/update.ver`

※確認できない場合は、サーバーのファイアウォールの設定や手順4の設定を見直してください。

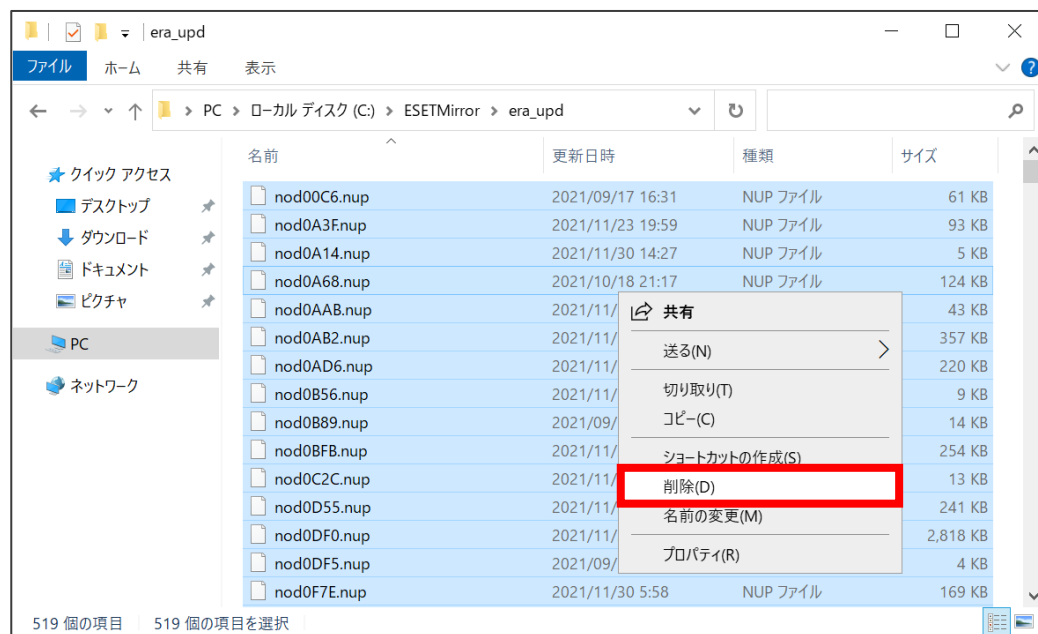
以上で、ミラーサーバーの構築は終了となります。

2. 参考（ミラーサーバーの構築）

ミラーサーバーの検出エンジンの更新

- ミラーサーバーに保存された検出エンジンは手動での更新が必要となります。お客様の運用に合わせて、検出エンジンの更新頻度(例：月に1回)を決めていただき、定期的に更新を行ってください。
- なお、更新時には、以下の画像のように「ess10_upd」、「era_upd」に**保存されていた検出エンジンのファイルを必ず削除してから**、「ミラーフォルダの作成」の手順3、4を参考に新しく取得した検出エンジンを展開するようにしてください。

※上書きでの展開はしないでください。



2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

- (1) 事前準備で用意したESSWのインストーラーをダブルクリックします。
- (2) ESET Server Security セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。

画像1



画像2



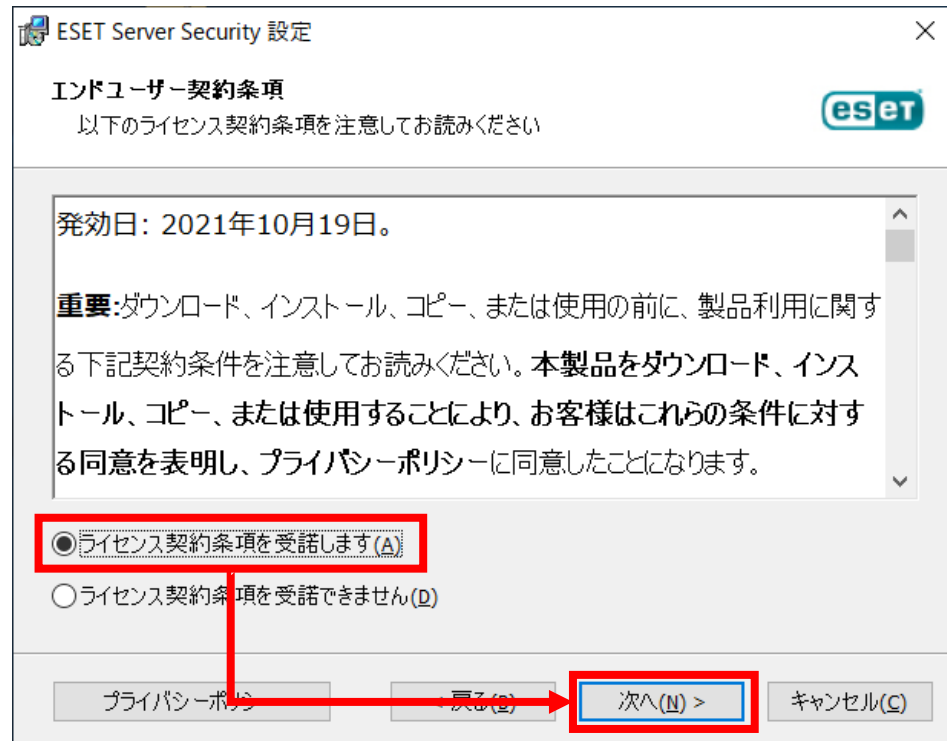
2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

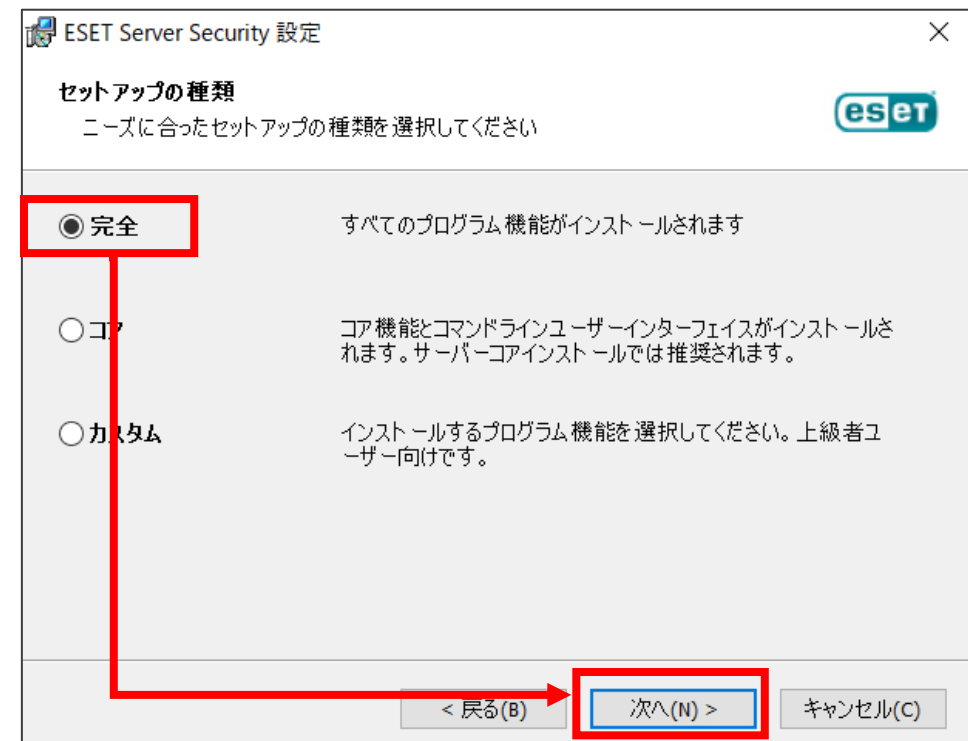
(3)エンドユーザー契約条項を受諾し、「次へ」をクリックします。

(4)「完全」を選択し、「次へ」をクリックします。

画像3



画像4



2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

(5) インストールするフォルダーを選択し、「インストール」をクリックします。

※既定では、赤枠のフォルダーにそれぞれインストールされます。

(6) 「ESET Server Security セットアップウィザードを管理用しています」と表示されましたら、「完了」をクリックします。

画像5



画像6



2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

(7)以下の画面が表示されましたら、「オフラインライセンス」をクリックします。

画像7



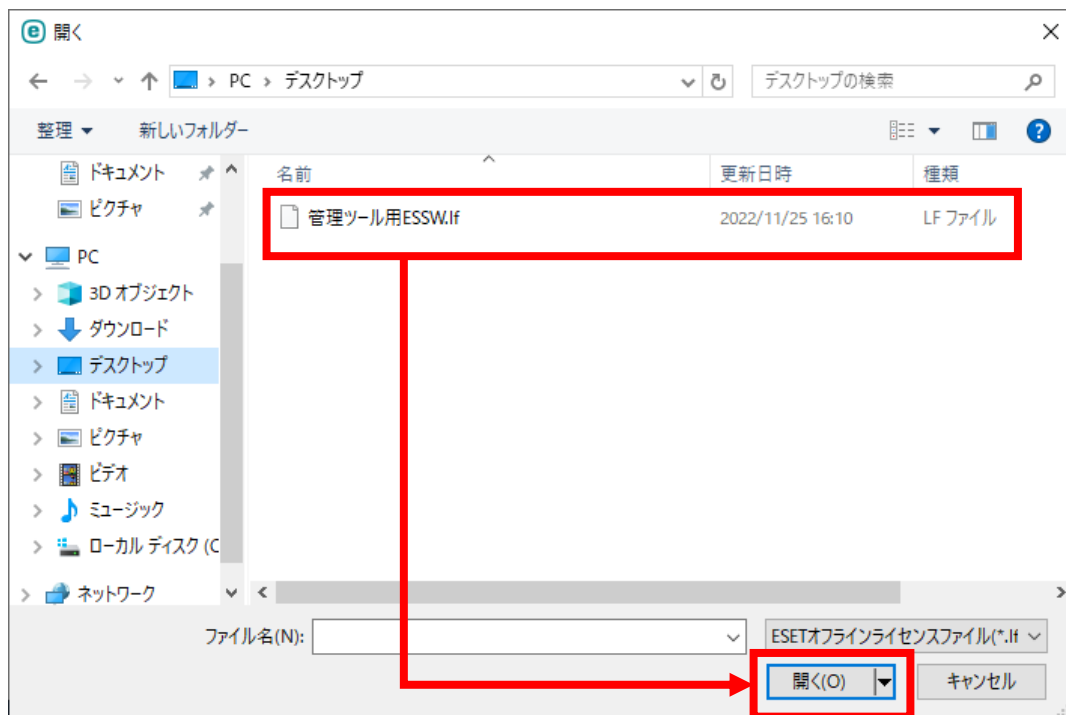
2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

(8) 事前準備で用意したESSWのオフラインライセンスファイルを選択します。

(9) 「アクティベーションが成功しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

画像8



画像9



2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

(10) 以下のような画面が表示されたら、お客様のご利用条件に合わせて不審なアプリケーションの検出有無の設定をします。

(11) 「ESET LiveGridフィードバックシステム」の設定では「許可しない」を選択します。

画像10



画像11



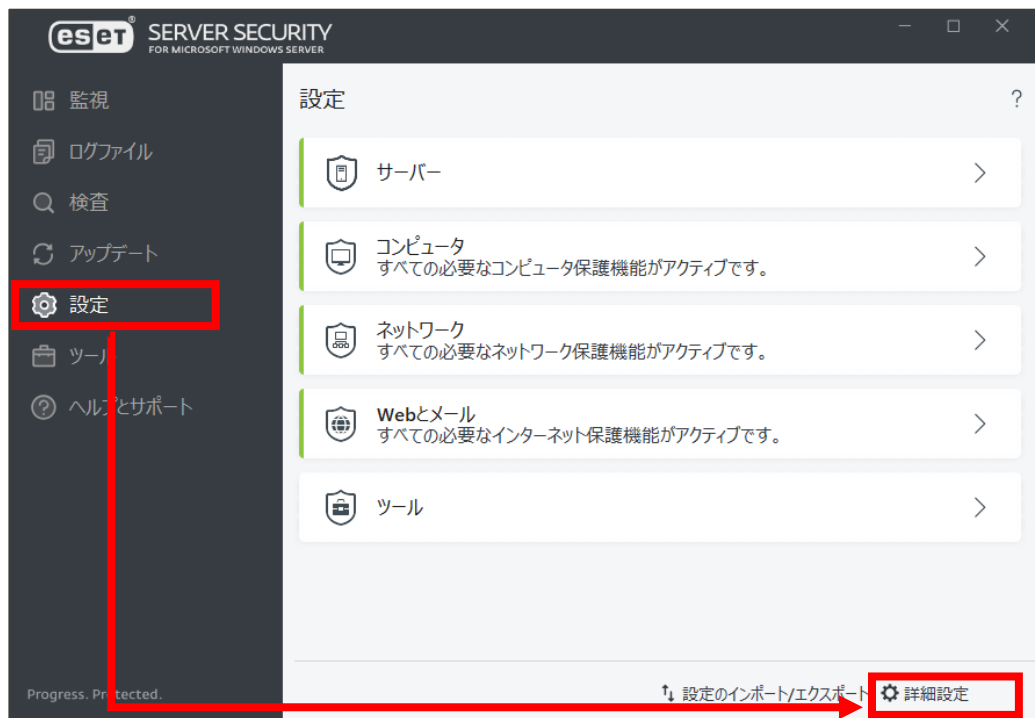
2. 構築（管理ツールの構築）

⑤ ESSWのインストール

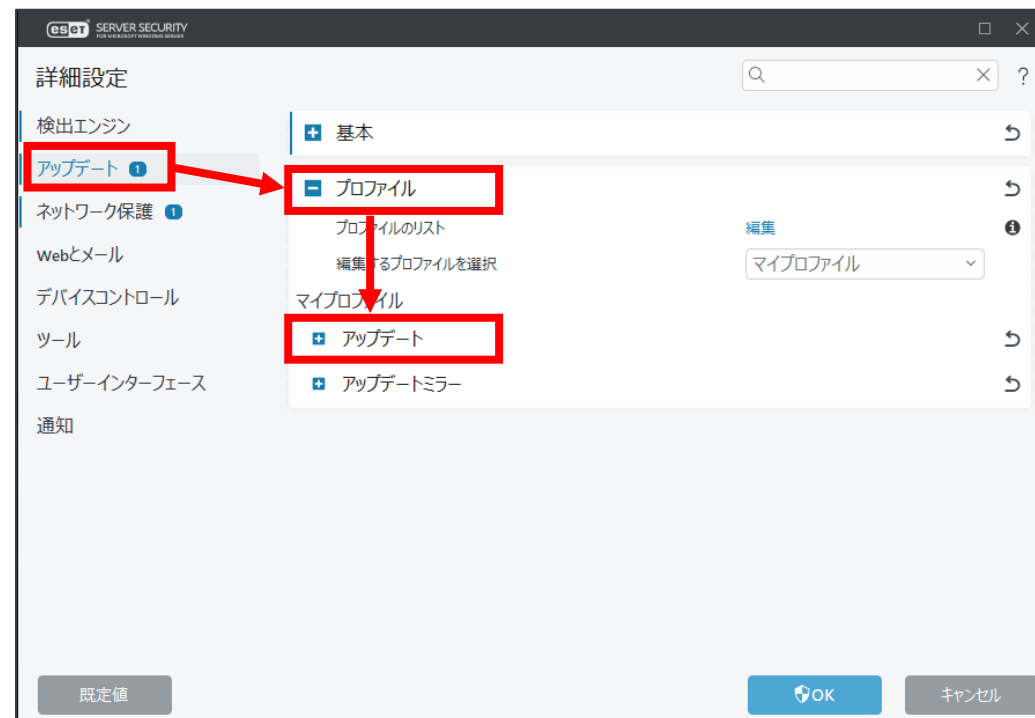
(12) ESETのメイン画面より、「設定」→「詳細設定」をクリックします。

(13) 「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックします。

画像12



画像13



2. 構築（管理ツールの構築）

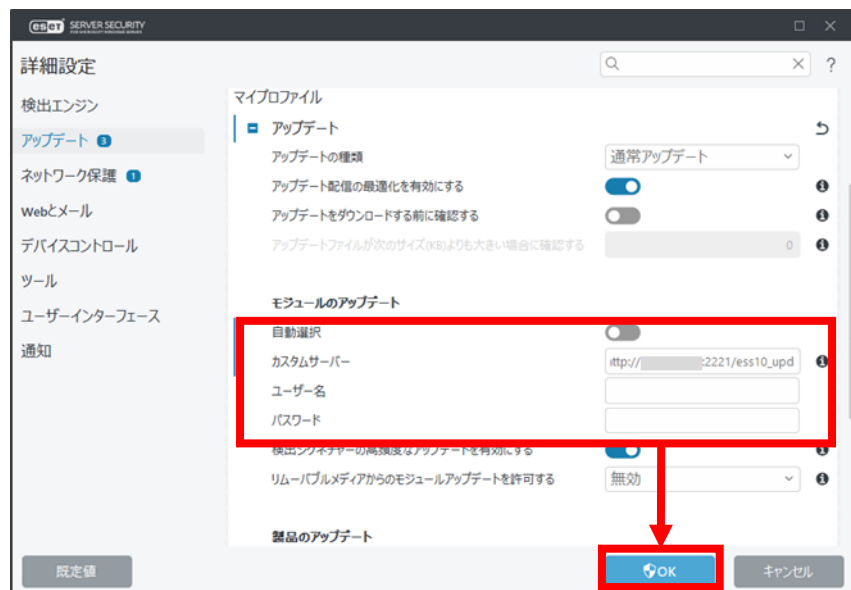
⑤ ESSWのインストール

(14)「モジュールアップデート」下の「自動選択」の項目を無効にし、カスタムサーバーに「クライアント用プログラムの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「OK」をクリックします。

※入力するURL : `http://"ミラーサーバーのIPアドレス":"ミラーサーバーの動作ポート"/ess10_upd`

(15)自動的にアップデートが開始されますので、ESETのメイン画面の「アップデート」に移動し、アップデートが完了していることを確認します。

画像14



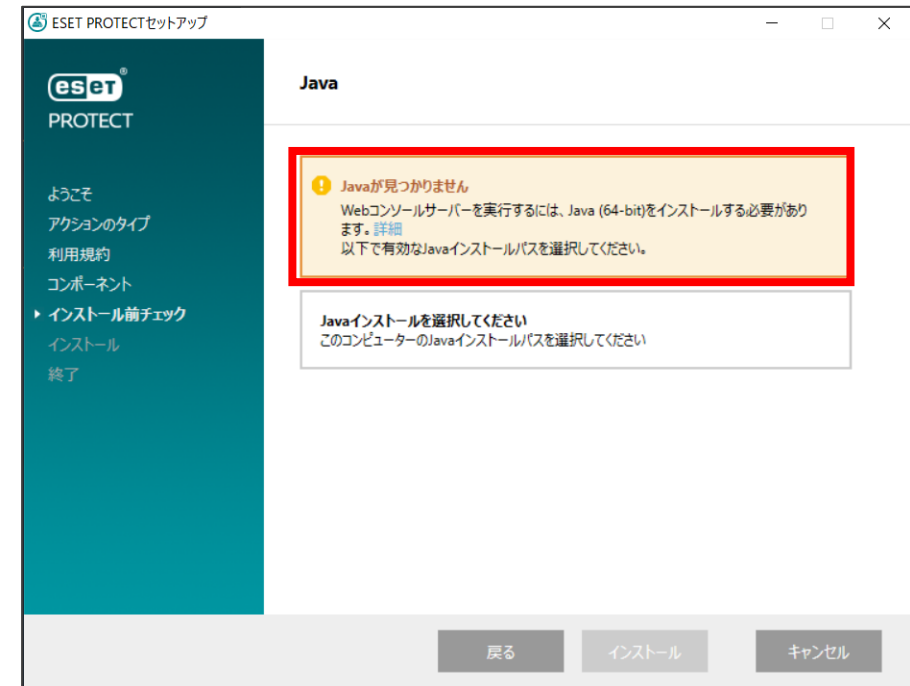
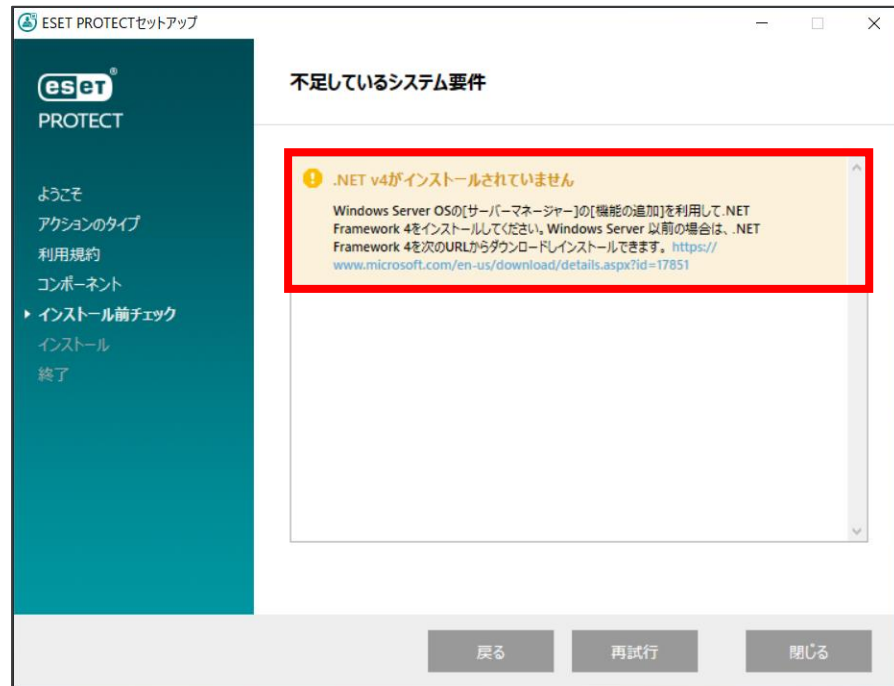
画像15



2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

- EPのインストール作業を行う前に、「64bit版のJava」および「.NET Framework 4」のインストールをしてください。
※有償版JREまたは無償版JDKである「Amazon Corretto」の使用を推奨しております。AmazonCorrettoのインストールについては以下のサポートページをご参照ください。
＜【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business



2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

(1) 事前準備で用意したEPのオールインワンインストーラー「Setup_x64.zip」を展開し、展開後に表示されるフォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックします。



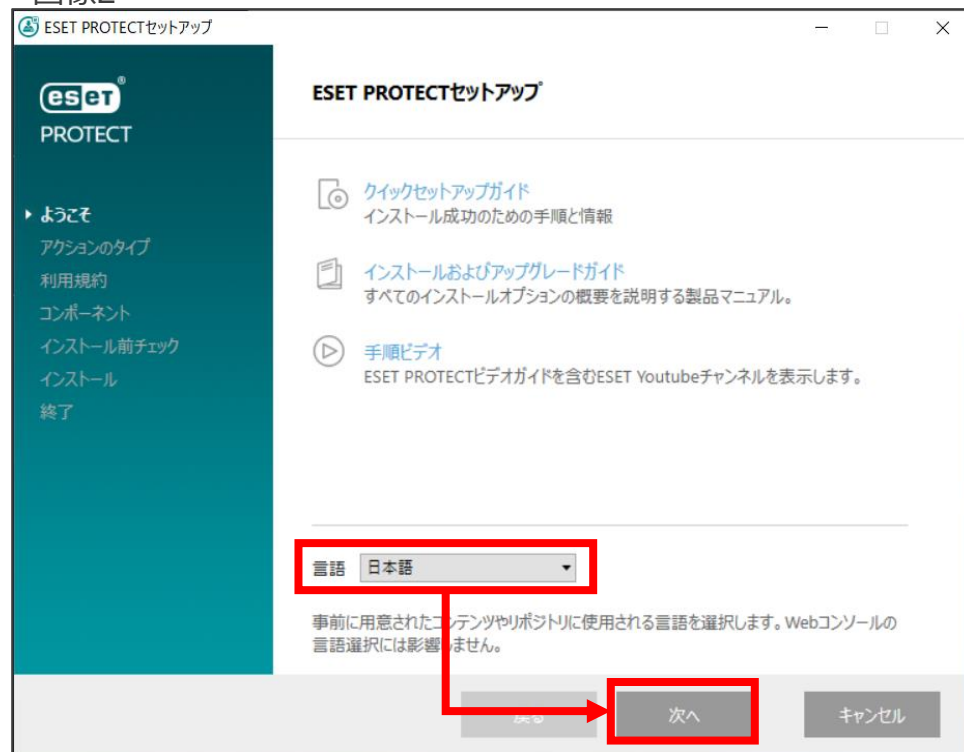
2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

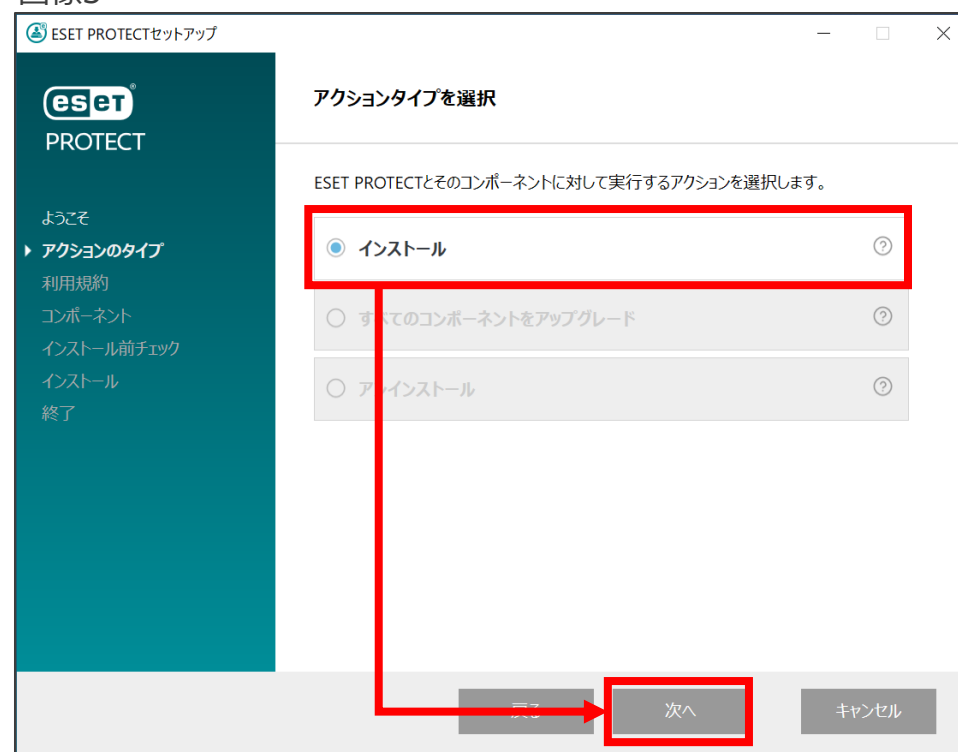
(2)言語は日本語を選択し、「次へ」をクリックします。

(3)「インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

画像2



画像3



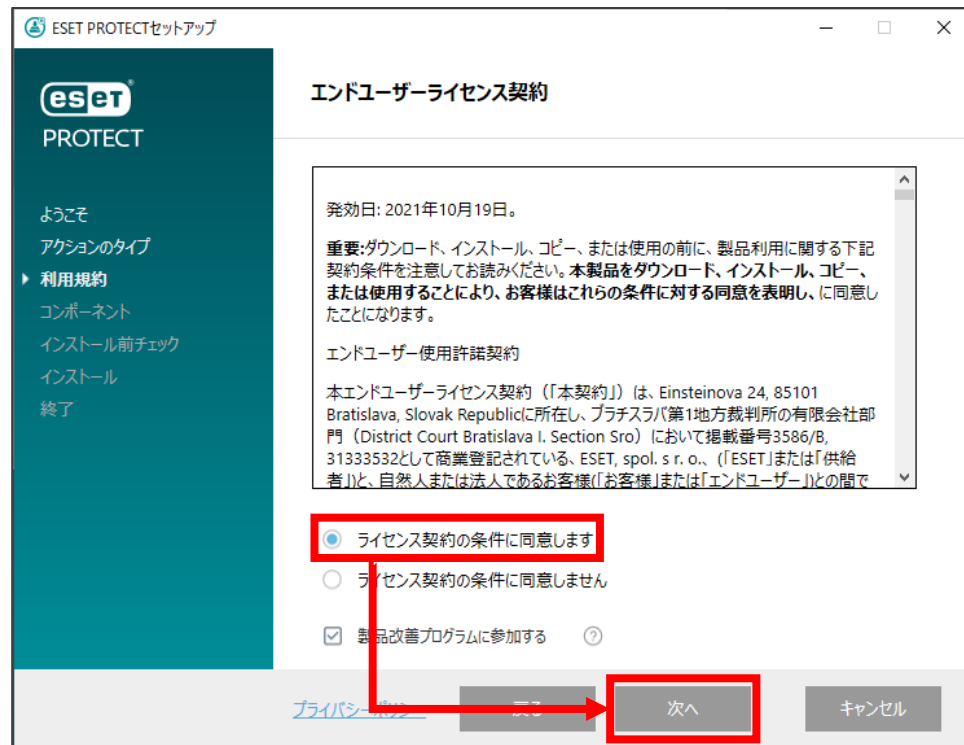
2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

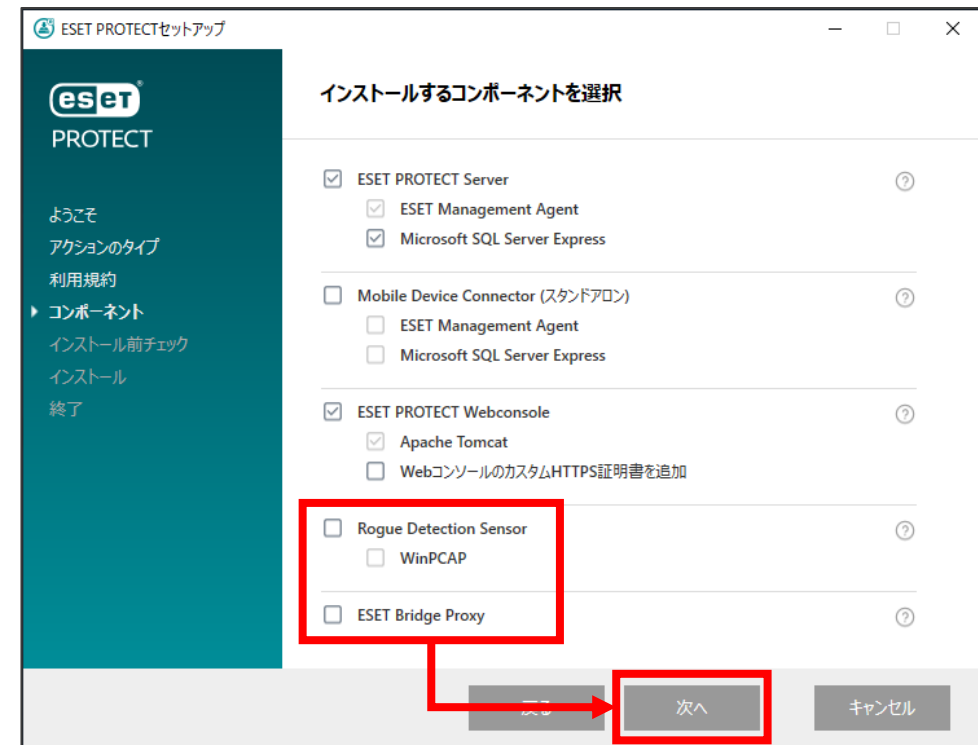
(4)エンドユーザーライセンス契約に同意して、「次へ」をクリックします。

(5)「Rogue Detection Sensor」と「ESET Bridge Proxy」から**チェックを外して**、「次へ」をクリックします。

画像4



画像5



2. 構築（管理ツールの構築）

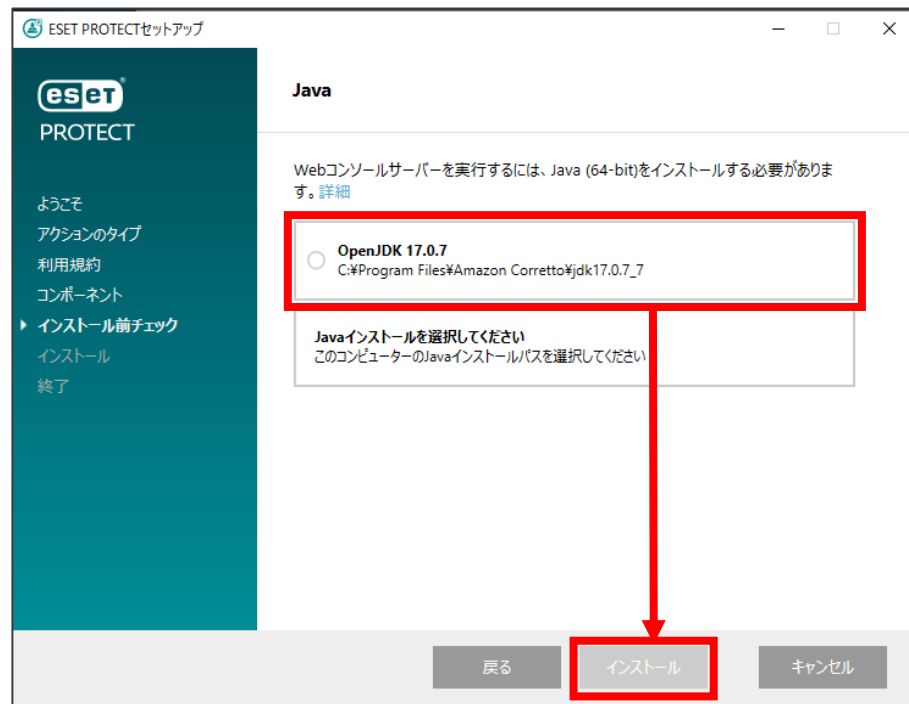
⑥ EPのインストール

(6) Webコンソールで使用する64bit版のJavaを選択し、「インストール」をクリックします。

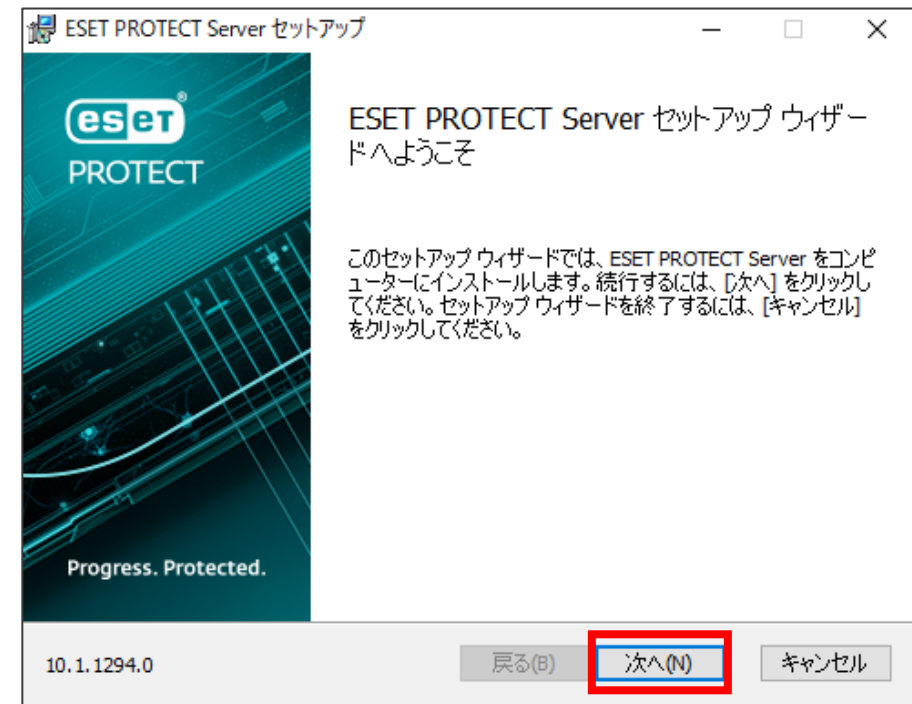
※本資料ではAmazonCorretto17を利用します。

(7) ESET PROTECT Server セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。

画像6



画像7



2. 構築（管理ツールの構築）

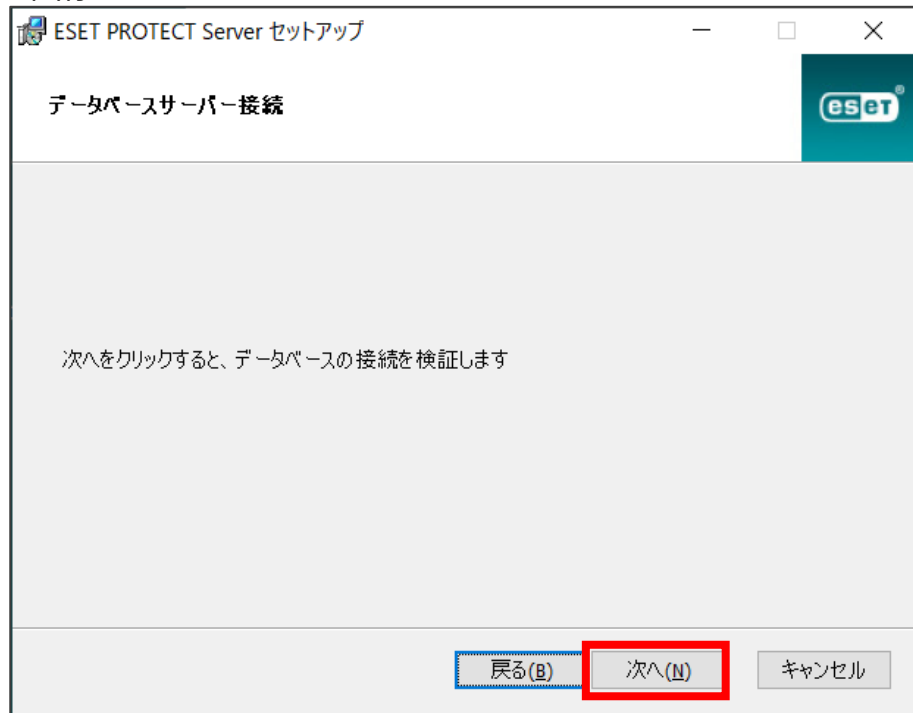
⑥ EPのインストール

(8)データベースサーバー接続画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

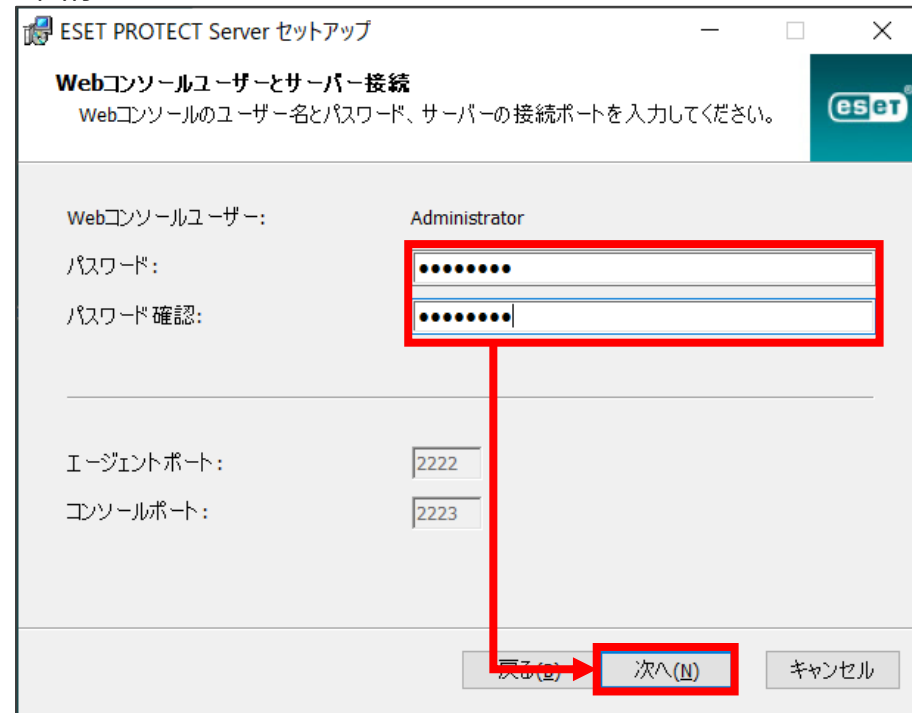
(9)Webコンソールユーザーとサーバー接続画面が表示されたら、任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

※ESET PROTECT のログインに利用します。

画像8



画像9



2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

- (10) 証明書情報画面が表示されましたら、必須フィールドが入力されていることを確認し「次へ」をクリックします。
- (11) ESET PROTECTをアクティベーションします画面が表示されましたら、「後からアクティベーション」を選択して、「次へ」をクリックします。

画像10

画像11

2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

(12) 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。

(13) 「ESET PROTECT Server セットアップウィザードが完了しました」と表示されましたら、「完了」をクリックします。

画像12



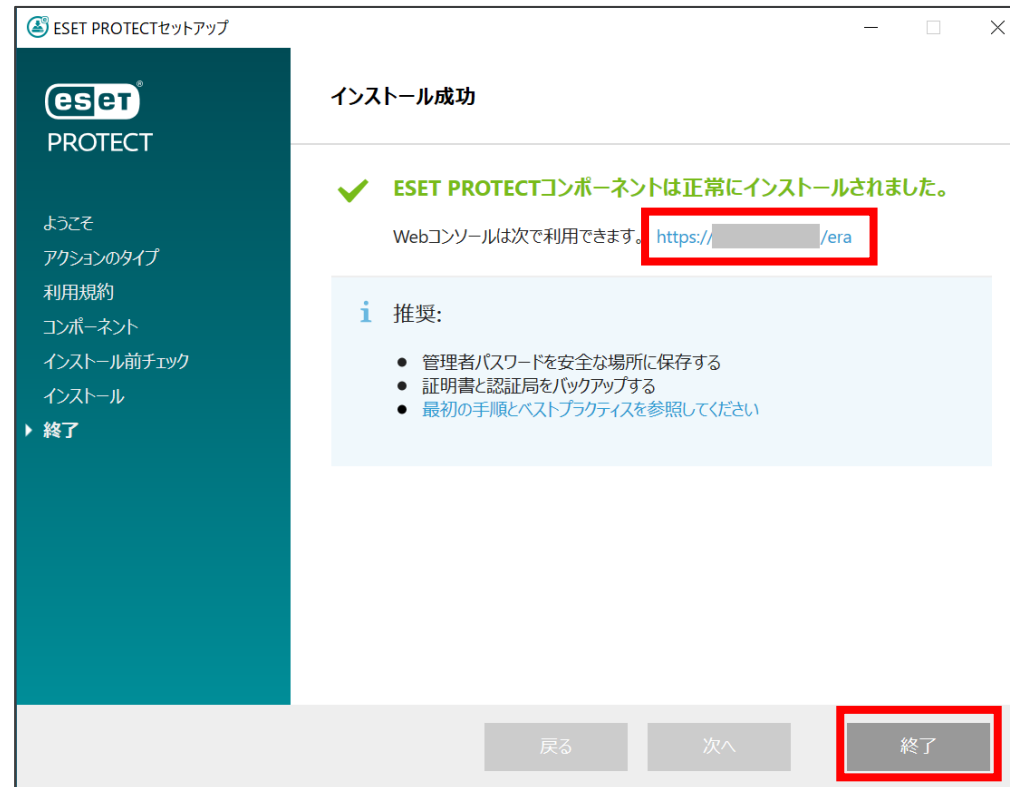
画像13



2. 構築（管理ツールの構築）

⑥ EPのインストール

(14)全てのコンポーネントがインストールされると、以下の画面が表示されます。Webコンソールのアドレスが表示されているのを確認しメモしてください。その後「終了」をクリックします。



以上で、管理ツールの構築は終了となります。

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(1) Webブラウザ(Google Chromeなど)を起動し、「⑥.EPのインストール」の手順14で確認したアドレスを入力してWebコンソールにアクセスします。

※ここでは、EPのインストール時に独自に作成されたセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面にアクセス時に以下のような注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(2)言語を「日本語」に設定し、「⑥.EPのインストール」の手順9で設定したパスワードを入力し、ログインします。

eset PROTECT

ログイン

ユーザー名

パスワード

日本語

☐ メインユーザーとしてログイン

☒ マルチタブでのセッションを有効化

ログイン パスワードの変更

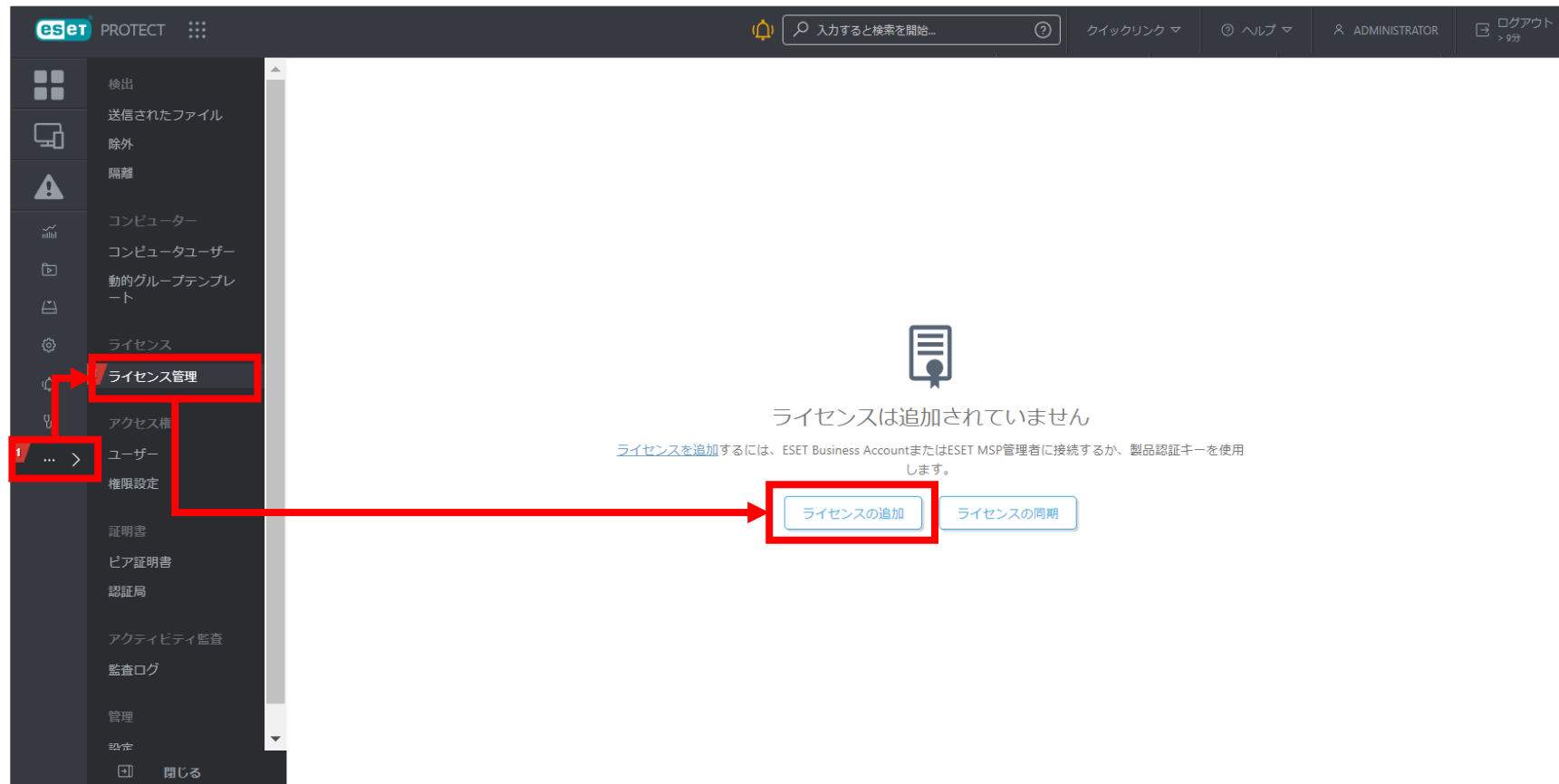
ヘルプを開く

© 1992 - 2023 ESET, spol. s r.o. - All rights reserved.

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

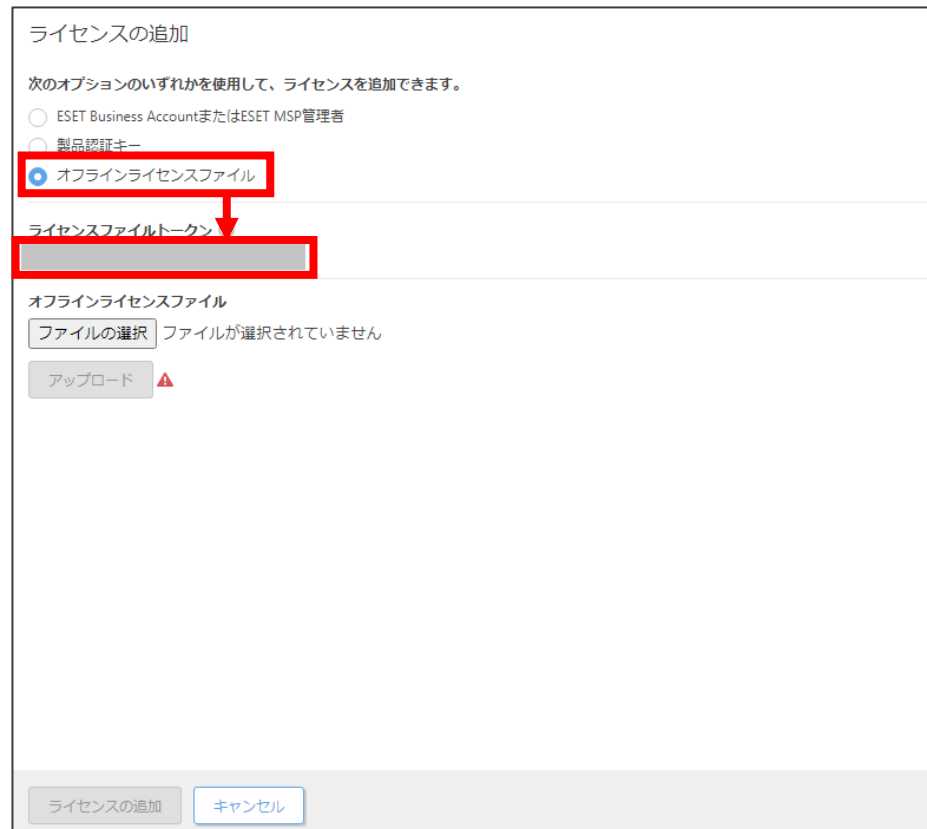
(3)画面左側の「詳細」→「ライセンス管理」と進み、「ライセンスの追加」をクリックします。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

- (4) 「オフラインライセンスファイル」にチェックをいれ、「ライセンスファイルトークン」をメモします。
※ライセンスファイルトークンはオフラインライセンスファイルを作成する際に使用します。



ライセンスの追加

次のオプションのいずれかを使用して、ライセンスを追加できます。

☐ ESET Business AccountまたはESET MSP管理者

☐ 製品認証キー

☒ オフラインライセンスファイル

ライセンスファイルトークン

オフラインライセンスファイル

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

アップロード ⚠

ライセンスの追加 キャンセル

2. 構築（サーバーのセットアップ）


⑦ ライセンスの登録

(5)インターネット接続可能な端末を使用し、事前準備の「②管理ツール用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード」の手順を参考に、管理する端末用のオフラインライセンスファイルをダウンロードします。

※入力情報については、以下の表を参考にしてください。

※管理するクライアント用プログラムの種類が複数ある場合はプログラムごとにオフラインライセンスファイルを作成してください。

項目	設定内容
製品	<ESET Endpoint Security の場合> ESET Endpoint Security for Windows <ESET Endpoint アンチウイルス の場合> ESET Endpoint Antivirus for Windows <ESET Endpoint Security for OS X の場合> ESET Endpoint Security for Mac OS X <ESET Endpoint アンチウイルス for OS X の場合> ESET Endpoint Antivirus for Mac OS X <ESET Server Security for Microsoft Windows Server の場合> ESET Server Security for Microsoft Windows Server (ESET File Security for Microsoft Windows Server) < ESET Server Security for Linux の場合 > ESET Server Security for Linux (ESET File Security for Linux) <ESET Endpoint アンチウイルス for Linux の場合> ESET Endpoint Antivirus for Linux
サイト名	任意(例：EES)
単位数	オフラインライセンスファイルを使用する台数
ユーザー名とパスワードを含める	チェックなし
ESET PROTECTによる管理を許可する	チェックを入れ、[ESET PROTECTトークン] に手順4で確認した内容を入力

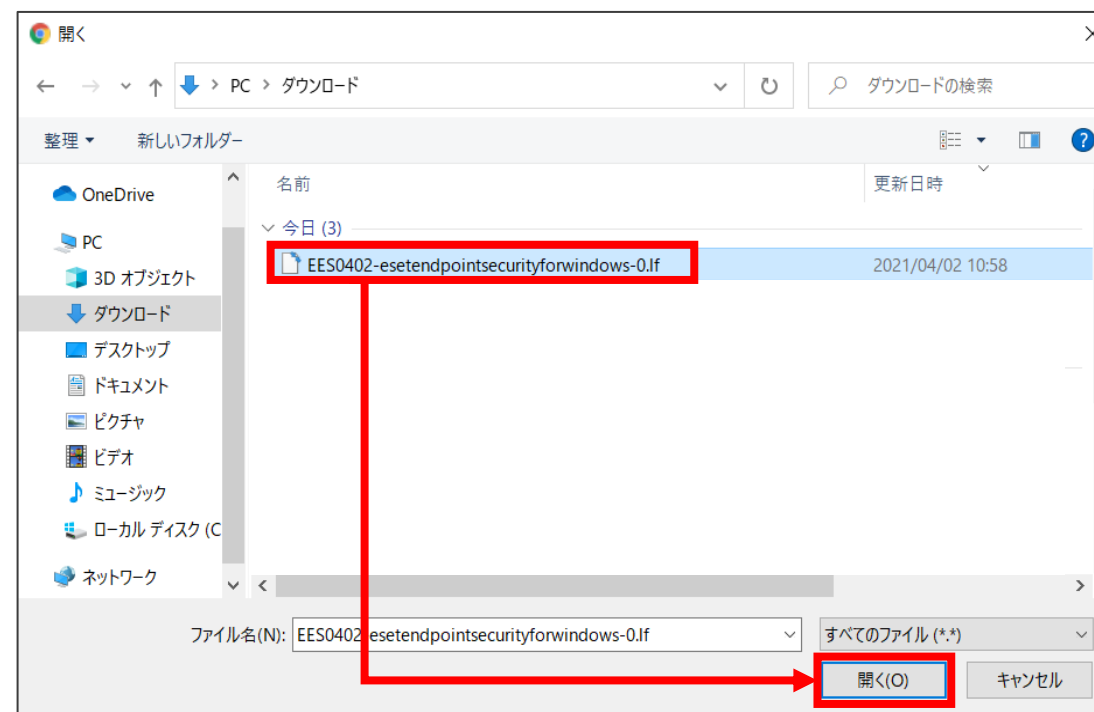


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(6)再びEPのWebコンソール画面に移動し、「ファイルを選択」から、手順5で作成したオフラインライセンスファイルを選択します。

※EPからログアウトしている場合は、再びログインし、ライセンス管理に移動してください。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(7) 「アップロード」をクリックし、その後、「ライセンスの追加」をクリックします。

ライセンスの追加

次のオプションのいずれかを使用して、ライセンスを追加できます。

☐ ESET Business AccountまたはESET MSP管理者
 ☐ 製品認証キー
 ☒ オフラインライセンスファイル

ライセンスファイルトークン ②

オフラインライセンスファイル

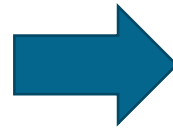
ファイルを選択

EES0402-esetendpointsecurityforwindows-0.lf

アップロード

ライセンスの追加

キャンセル



ライセンスの追加

次のオプションのいずれかを使用して、ライセンスを追加できます。

☐ ESET Business AccountまたはESET MSP管理者
 ☐ 製品認証キー
 ☒ オフラインライセンスファイル

ライセンスファイルトークン ②

オフラインライセンスファイル

ファイルを選択

EES.lf

アップロード

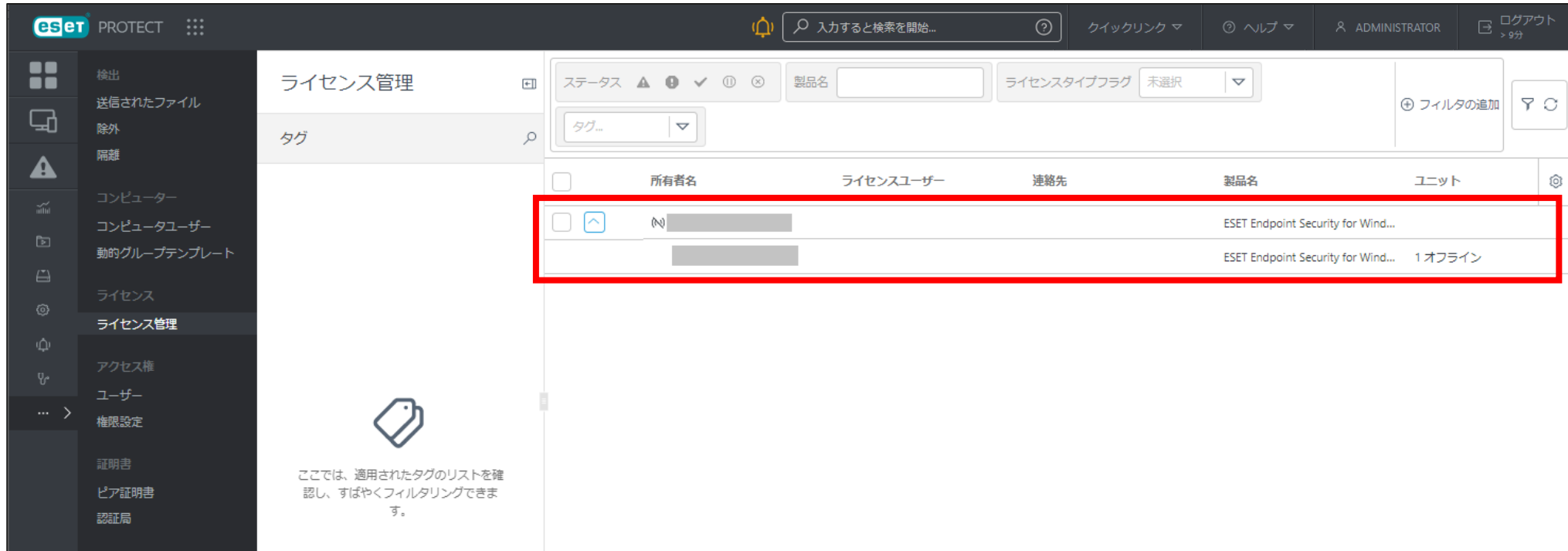
ライセンスの追加

キャンセル

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(8) ライセンスが追加されていることを確認します。



The screenshot shows the ESET PROTECT web interface. The left sidebar contains navigation options: 検出, 送信されたファイル, 除外, 隔離, コンピューター, コンピュータユーザー, 動的グループテンプレート, ライセンス, ライセンス管理 (selected), アクセス権, ユーザー, 権限設定, 証明書, ピア証明書, 認証局. The main area is titled 'ライセンス管理' (License Management). It includes a search bar with '入力すると検索を開始...' and a 'タグ...' dropdown. Below the search bar is a table with columns: 所有者名, ライセンスユーザー, 連絡先, 製品名, and ユニット. A red box highlights the first row of the table, which contains the following data:

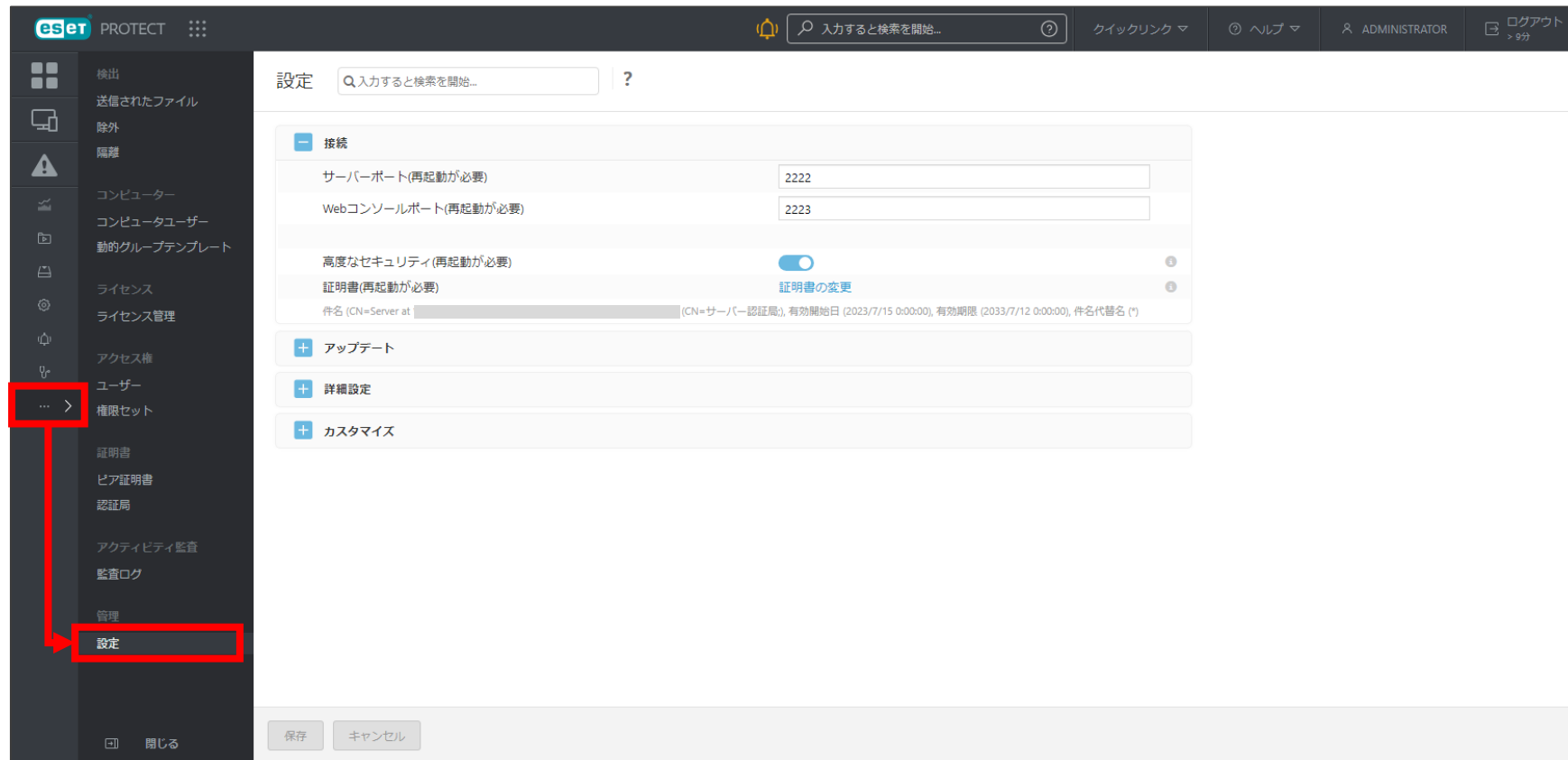
所有者名	ライセンスユーザー	連絡先	製品名	ユニット
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	ESET Endpoint Security for Wind...	1 オフライン

Below the table, there is a message: 'ここでは、適用されたタグのリストを確認し、すばやくフィルタリングできます。' (Here, you can check the list of applied tags and filter them quickly.)

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

(1)画面左側の「詳細」→「設定」をクリックします。

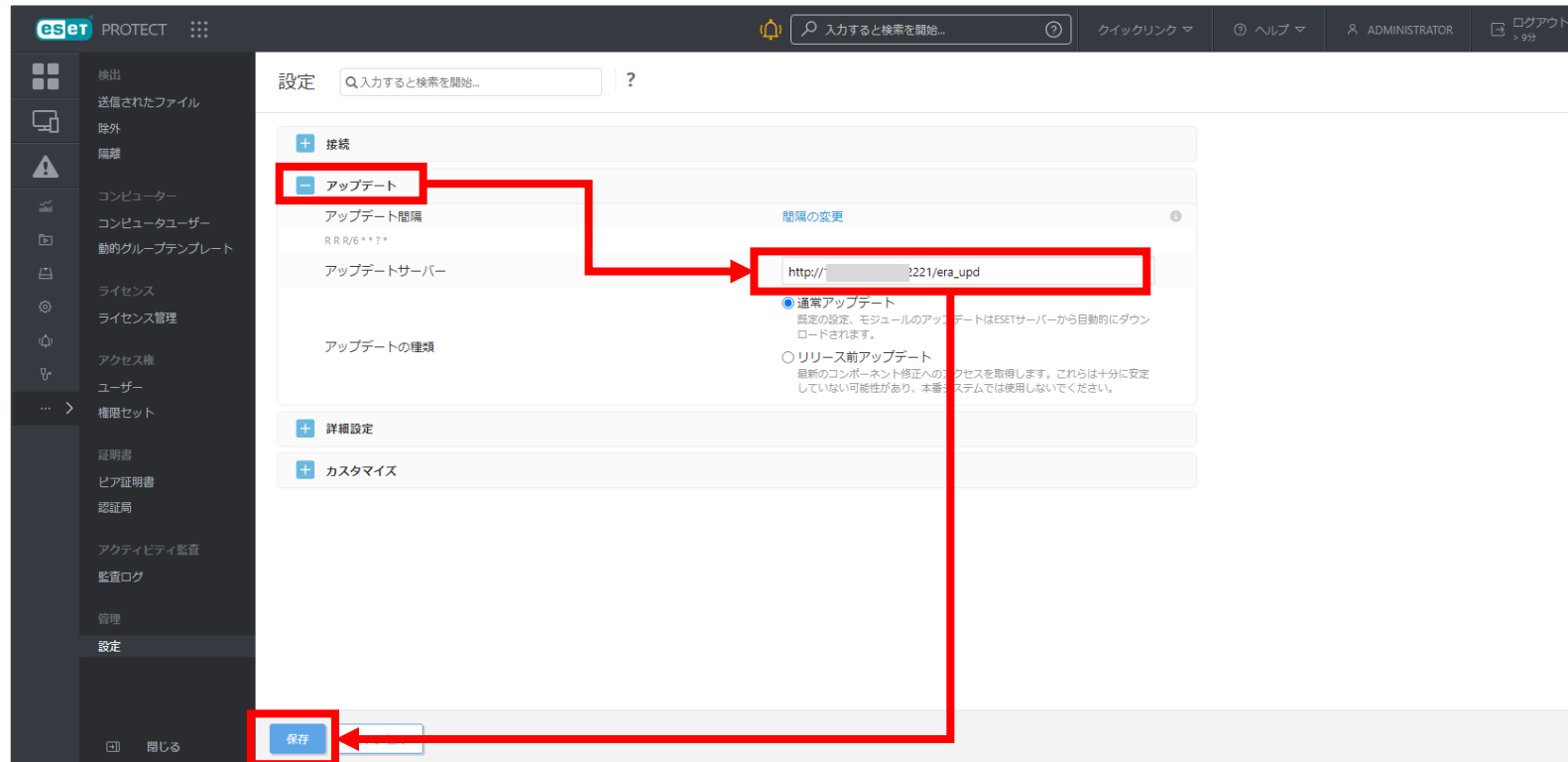


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

(2) 「アップデート」→「アップデートサーバー」に「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「保存」をクリックします。

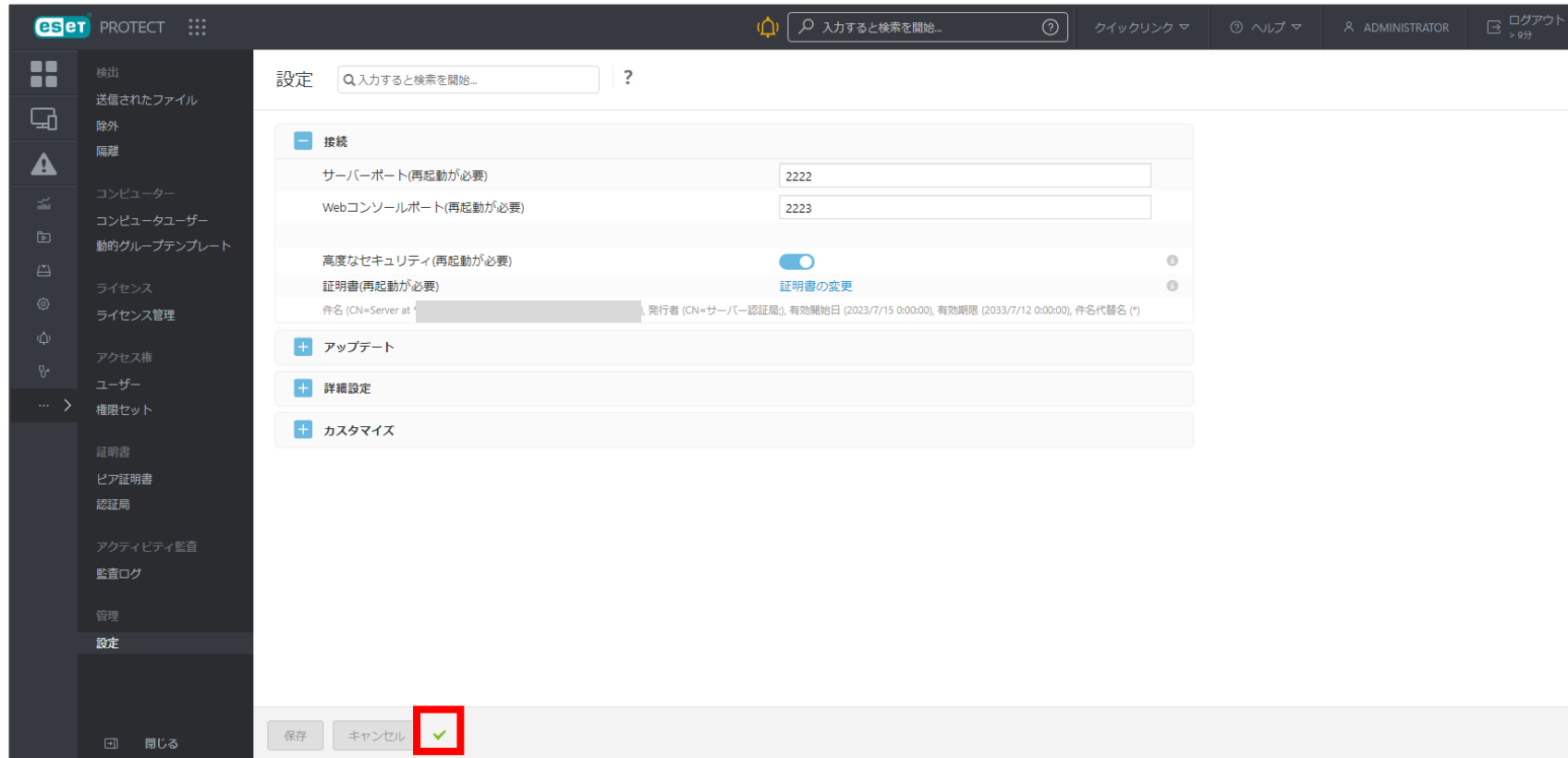
※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”：“ミラーサーバーの動作ポート”/era_upd



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

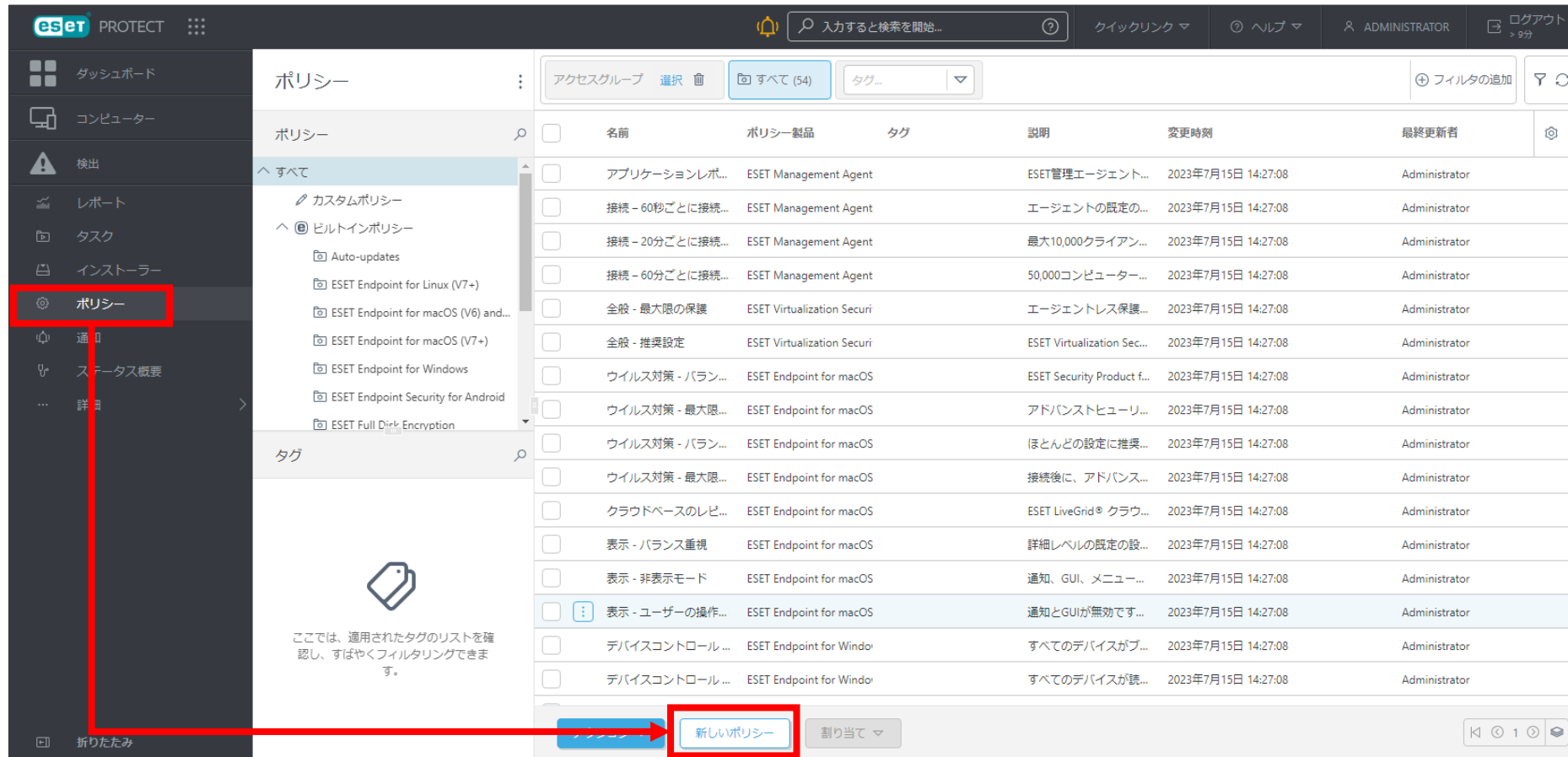
(3)チェックが付き、設定が保存されていることを確認します。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(1)画面左側の「ポリシー」をクリックし、「新しいポリシー」をクリックします。



The screenshot displays the ESET PROTECT web interface. On the left sidebar, the 'ポリシー' (Policy) menu item is highlighted with a red box. The main content area shows a list of policies with columns for Name, Policy Product, Tag, Description, Last Modified, and Last Updated By. At the bottom of the interface, the '新しいポリシー' (New Policy) button is highlighted with a red box, and a red arrow points from the 'ポリシー' menu item to this button.

名前	ポリシー製品	タグ	説明	変更時刻	最終更新者
アプリケーションレポ...	ESET Management Agent		ESET管理エージェント...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
接続 - 60秒ごとに接続...	ESET Management Agent		エージェントの既定の...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
接続 - 20分ごとに接続...	ESET Management Agent		最大10,000クライアント...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
接続 - 60分ごとに接続...	ESET Management Agent		50,000コンピューター...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
全般 - 最大限の保護	ESET Virtualization Securi		エージェントレス保護...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
全般 - 推奨設定	ESET Virtualization Securi		ESET Virtualization Sec...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
ウイルス対策 - バラン...	ESET Endpoint for macOS		ESET Security Product f...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
ウイルス対策 - 最大限...	ESET Endpoint for macOS		アドバンスドセキュリ...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
ウイルス対策 - バラン...	ESET Endpoint for macOS		ほとんどの設定に推奨...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
ウイルス対策 - 最大限...	ESET Endpoint for macOS		接続後に、アドバンス...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
クラウドベースのレピ...	ESET Endpoint for macOS		ESET LiveGrid® クラウ...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
表示 - バランス重視	ESET Endpoint for macOS		詳細レベルの既定の設...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
表示 - 非表示モード	ESET Endpoint for macOS		通知、GUI、メニュー...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
表示 - ユーザーの操作...	ESET Endpoint for macOS		通知とGUIが無効です...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
デバイスコントロール ...	ESET Endpoint for Windor		すべてのデバイスがブ...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator
デバイスコントロール ...	ESET Endpoint for Windor		すべてのデバイスが読...	2023年7月15日 14:27:08	Administrator


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(2)「基本」ではポリシーの名前を任意に入力し、「続行」をクリックします。「説明」と「タグ」の設定は任意です。

(3)「設定」の「製品を選択...」欄にて[ESET Management Agent]を選択します。

画像2



新しいポリシー
ポリシー > EMエージェントアップデート変更

基本

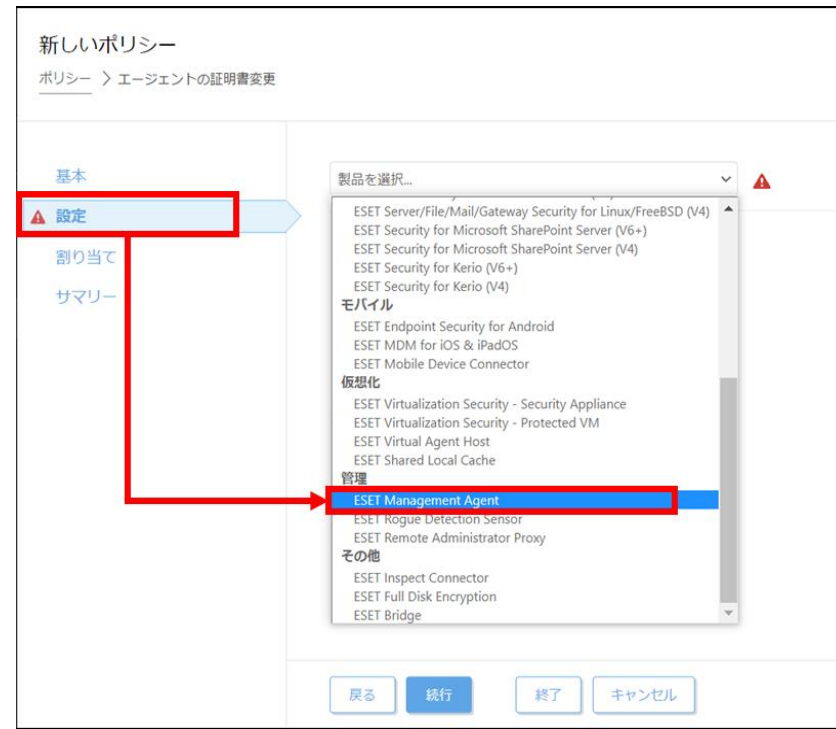
名前
EMエージェントアップデート変更

説明

タグ
タグを選択

戻る 続行 終了 キャンセル

画像3



新しいポリシー
ポリシー > エージェントの証明書変更

基本

設定

割り当て
サマリー

製品を選択...

- ESET Server/File/Mail/Gateway Security for Linux/FreeBSD (V4)
- ESET Security for Microsoft SharePoint Server (V6+)
- ESET Security for Microsoft SharePoint Server (V4)
- ESET Security for Kerio (V6+)
- ESET Security for Kerio (V4)
- モバイル
- ESET Endpoint Security for Android
- ESET MDM for iOS & iPadOS
- ESET Mobile Device Connector
- 仮想化
- ESET Virtualization Security - Security Appliance
- ESET Virtualization Security - Protected VM
- ESET Virtual Agent Host
- ESET Shared Local Cache
- 管理
- ESET Management Agent**
- ESET Rogue Detection Sensor
- ESET Remote Administrator Proxy
- その他
- ESET Inspect Connector
- ESET Full Disk Encryption
- ESET Bridge

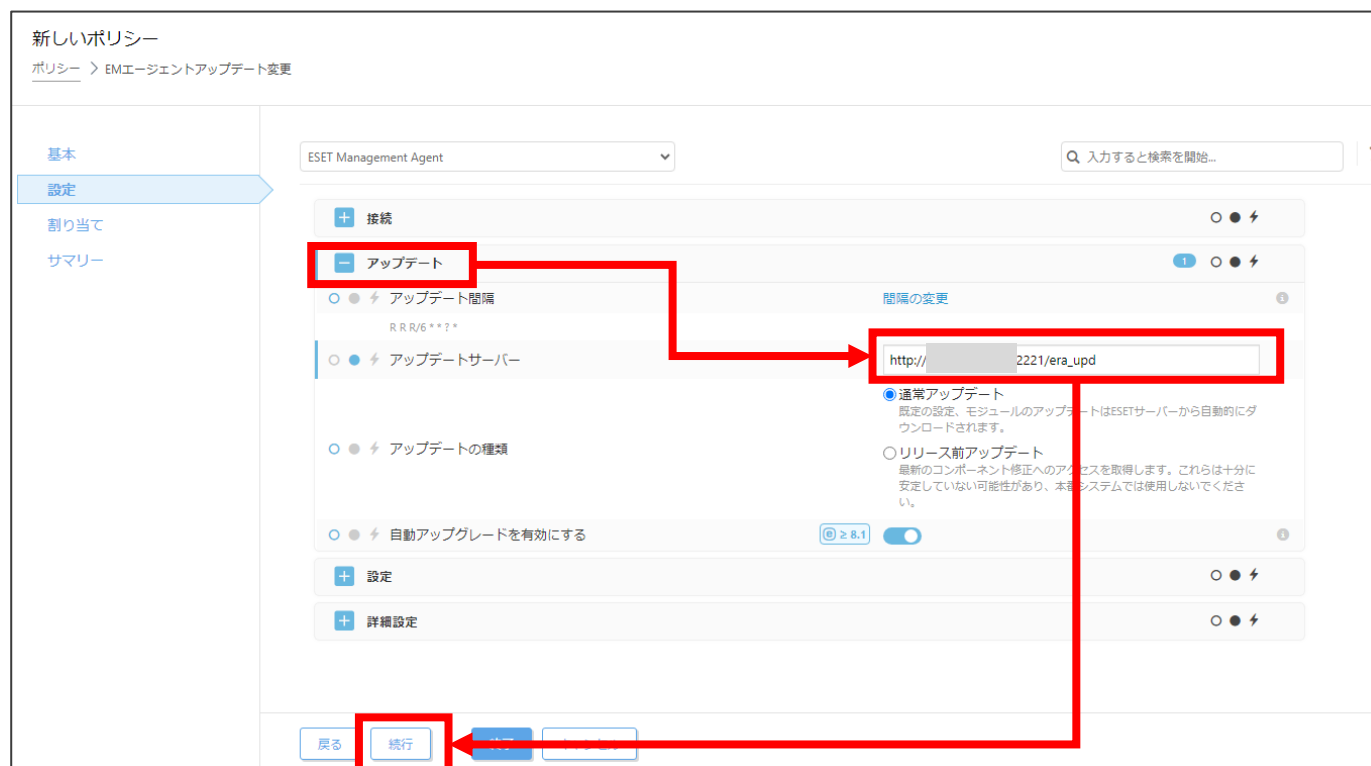
戻る 続行 終了 キャンセル

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(4) 「アップデート」→「アップデートサーバー」に「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「続行」をクリックします。

※入力するURL : `http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:"ミラーサーバーの動作ポート"/era_upd`



新しいポリシー

ポリシー > EMエージェントアップデート変更

基本

設定

割り当て

サマリー

ESET Management Agent

接続

アップデート

アップデート間隔

RRR/6**7*

アップデートサーバー

http://2221/era_upd

通常アップデート

既定の設定、モジュールのアップデートはESETサーバーから自動的にダウンロードされます。

リリース前アップデート

最新のコンポーネント修正へのアクセスを取得します。これらは十分に安定していない可能性があり、本番システムでは使用しないでください。

自動アップグレードを有効にする

≥ 8.1

設定

詳細設定

戻る

続行

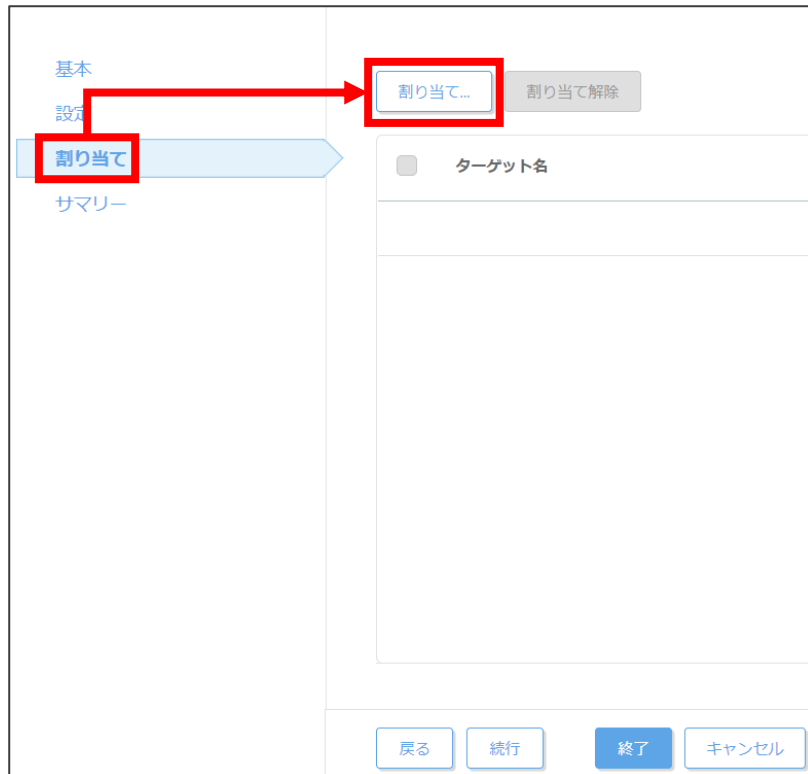
2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

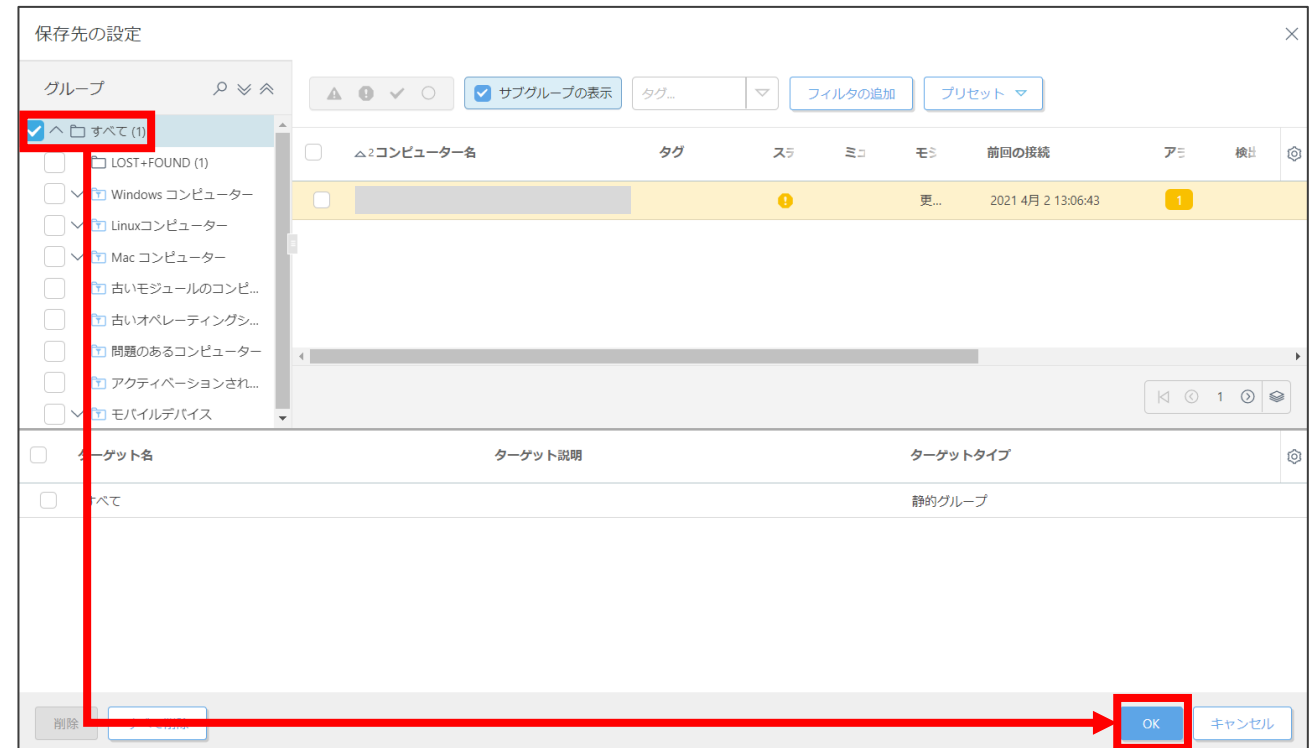
(5) 「割り当て」で、「割り当て...」をクリックします。

(6) 「すべて」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

画像5



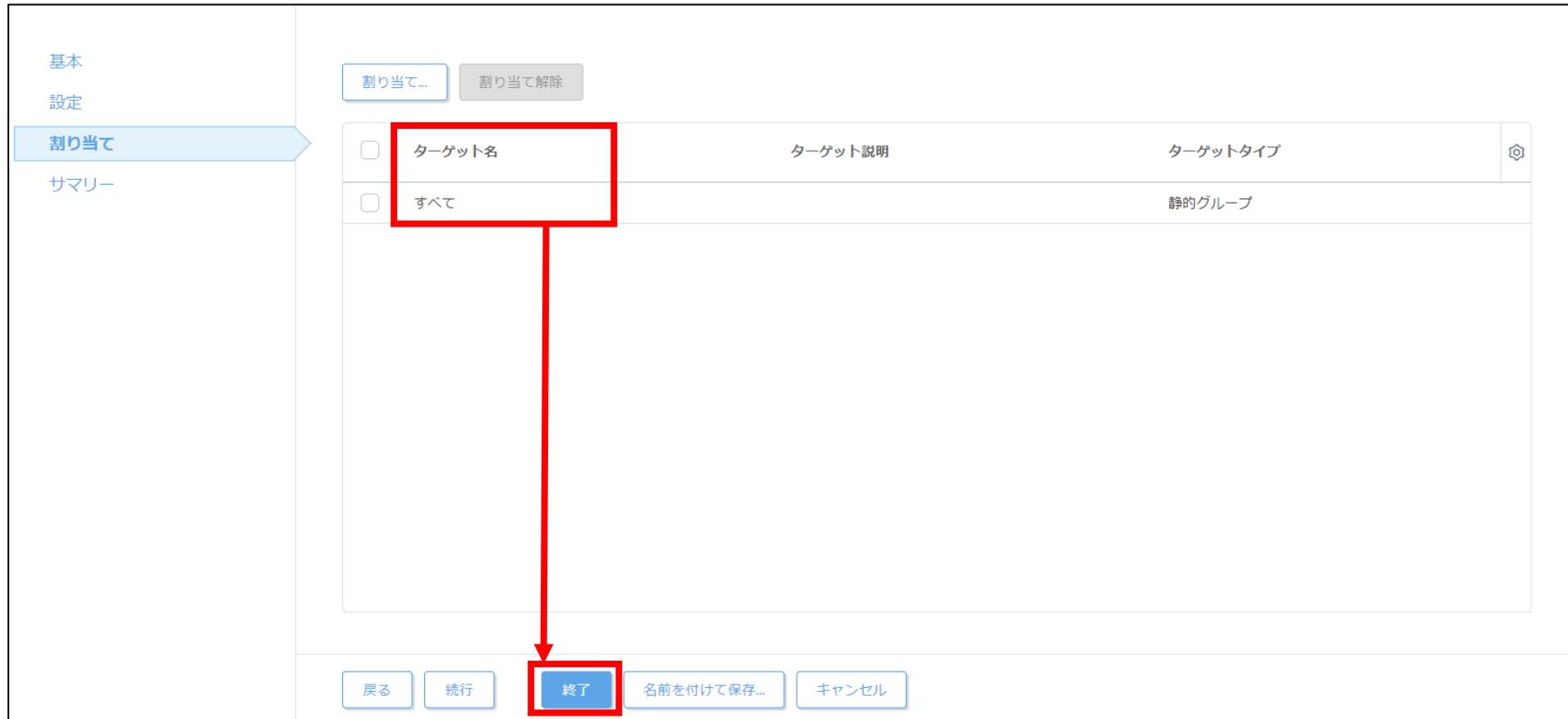
画像6



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(7) 「すべて」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「終了」をクリックします。



基本
設定
割り当て
サマリー

割り当て... 割り当て解除

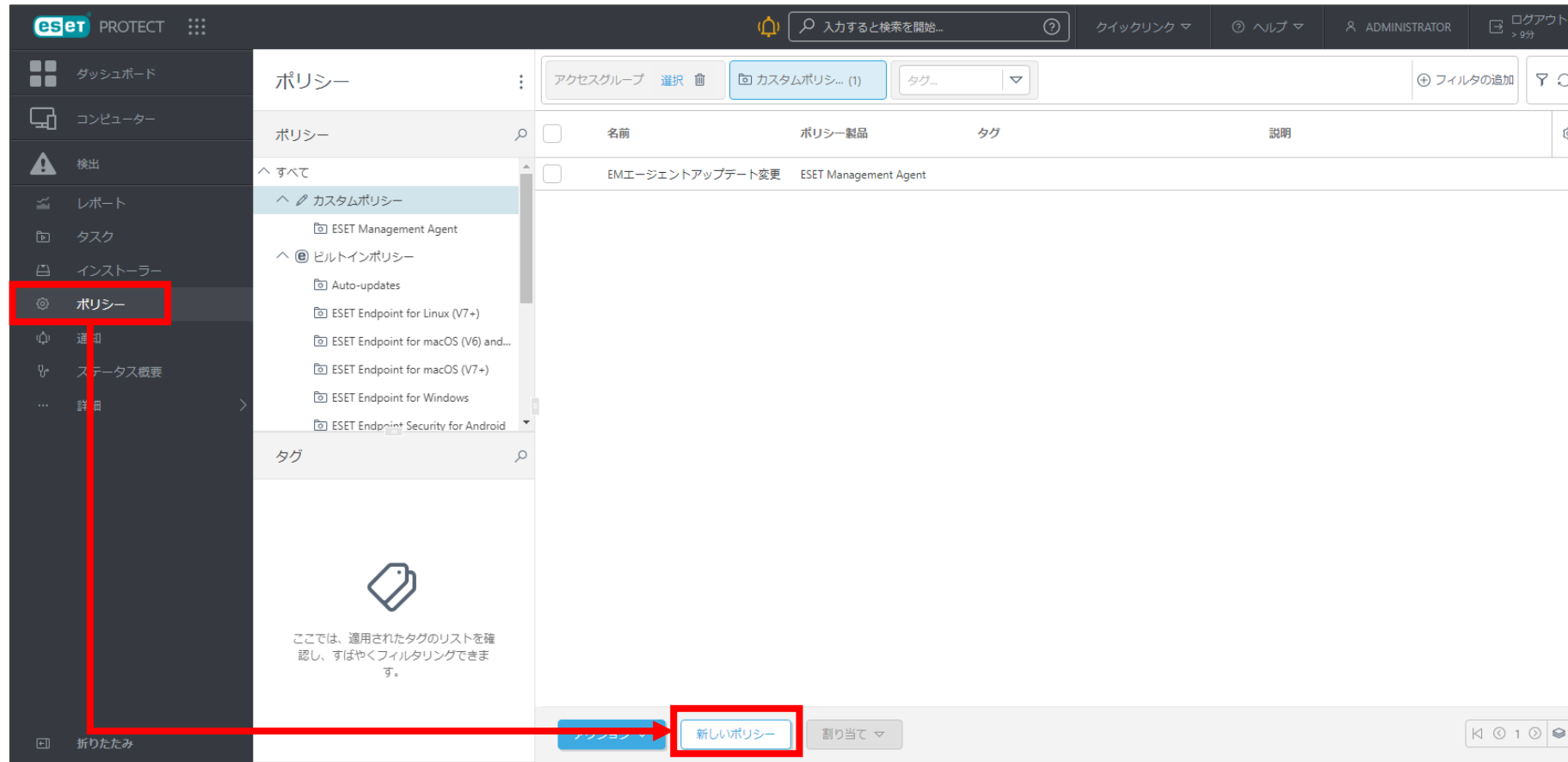
<input type="checkbox"/>	ターゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ	
<input type="checkbox"/>	すべて		静的グループ	

戻る 続行 終了 名前を付けて保存... キャンセル

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(1)画面左側の「ポリシー」をクリックし、「新しいポリシー」をクリックします。

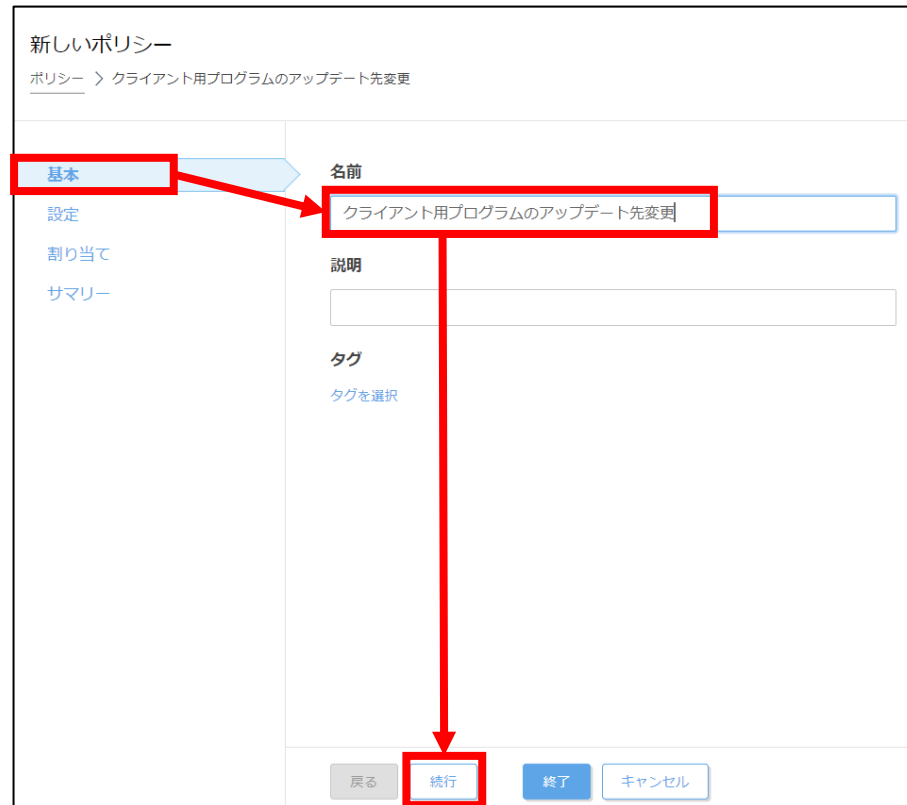


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(2) 「基本」ではポリシーの名前を任意に入力し、「続行」をクリックします。

※「説明」と「タグ」の設定は任意です。



新しいポリシー

ポリシー > クライアント用プログラムのアップデート先変更

基本

名前

クライアント用プログラムのアップデート先変更

説明

タグ

タグを選択

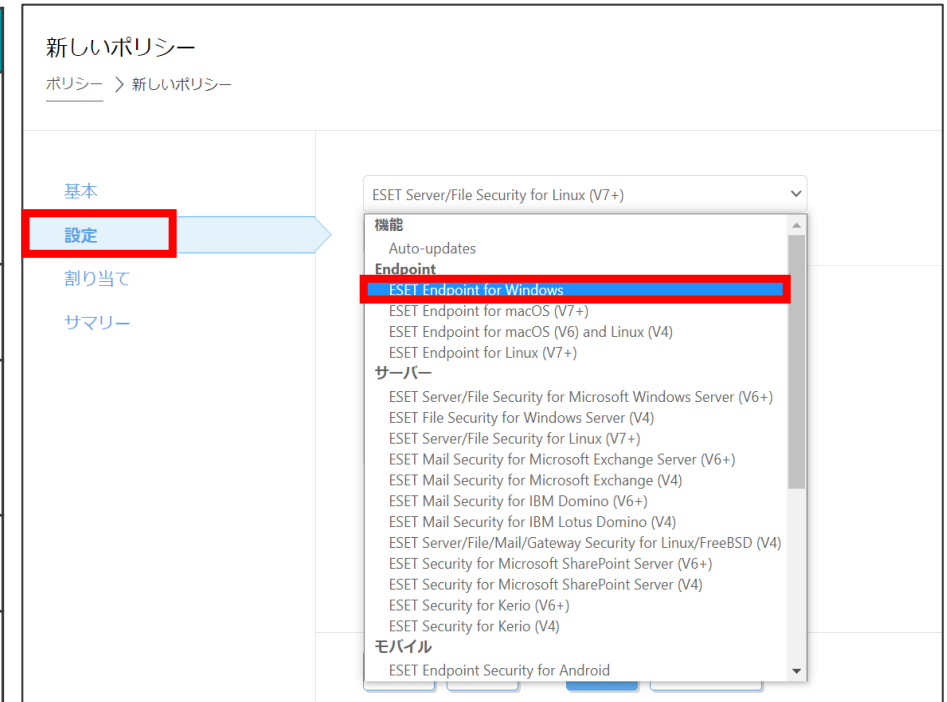
戻る 続行 終了 キャンセル

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(3)「設定」の「製品を選択...」欄にて以下の表を参考にポリシーの作成を行いたいセキュリティ製品を選択します。
 ※本手順ではWindowsクライアント用プログラムである[ESET Endpoint for Windows]を選択します。

設定変更したいセキュリティ製品	製品を選択
ESET Endpoint Security V8.1、V9.1、V10.X、V11.X	ESET Endpoint for Windows
ESET Endpoint アンチウイルス V8.1、V9.1、V10.X、V11.X	
ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.X、V9.X、V10.X、V11.X	ESET Server/File Security for Microsoft Windows Server (V6+)
ESET Endpoint Security for OS X V6.11以降	ESET Endpoint for macOS (V6) and Linux (V4)
ESET Endpoint アンチウイルス for OS X V6.11以降	
ESET Server Security for Linux V8.X、V9.X、V10.X	ESET Server/File Security for Linux (V7+)
ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V9.X、V10.X	ESET Endpoint for Linux (V7+)



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(4) 「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし、「モジュールアップデート」下の「自動選択」の項目を無効にし、カスタムサーバーに「クライアント用プログラムの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「続行」をクリックします。

※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”：“ミラーサーバーの動作ポート”/ess10_upd



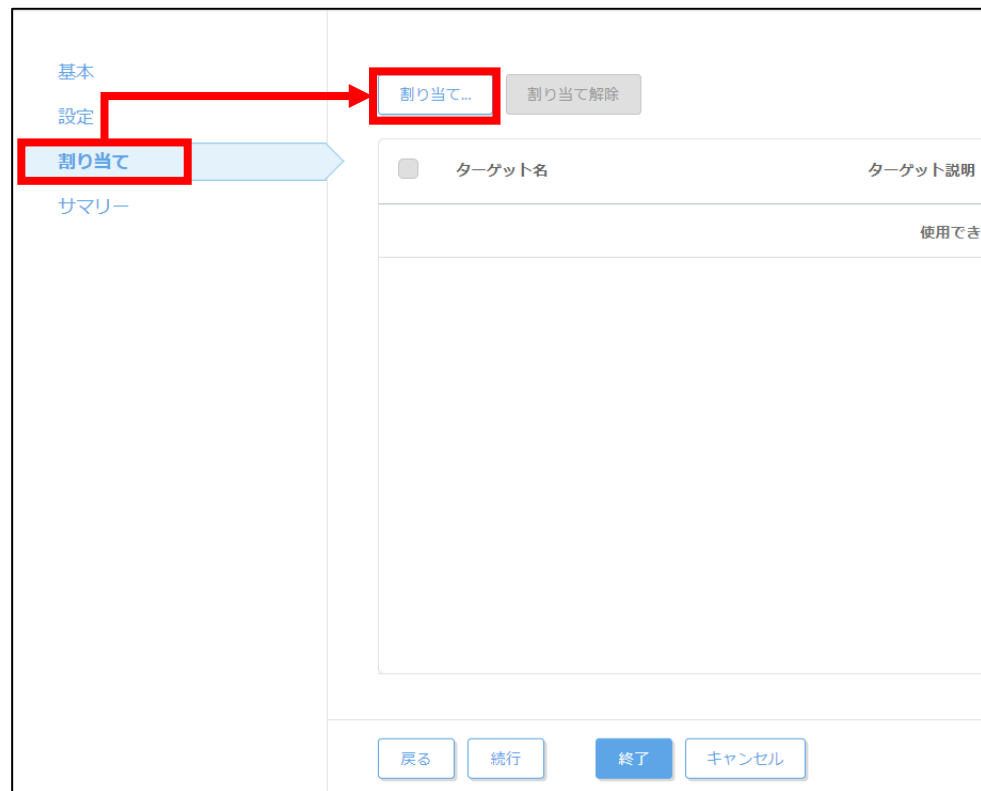
2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

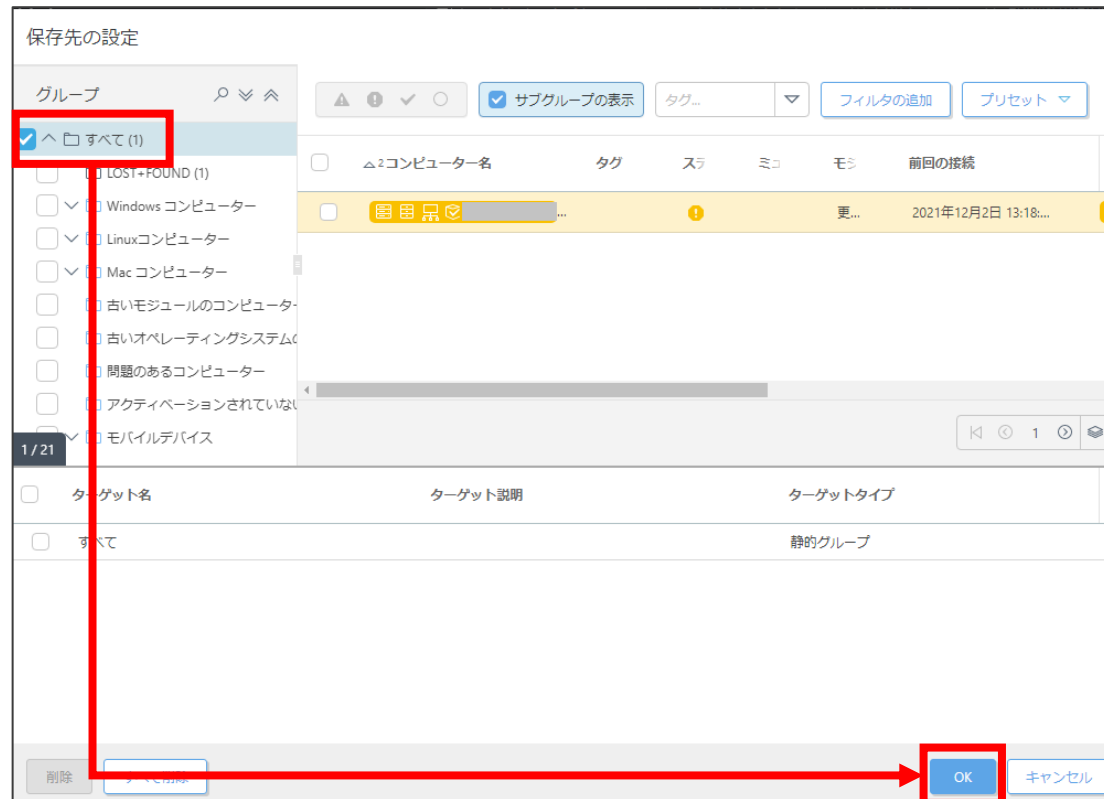
(5) 「割り当て」で、「割り当て...」をクリックします。

(6) 「すべて」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

画像5



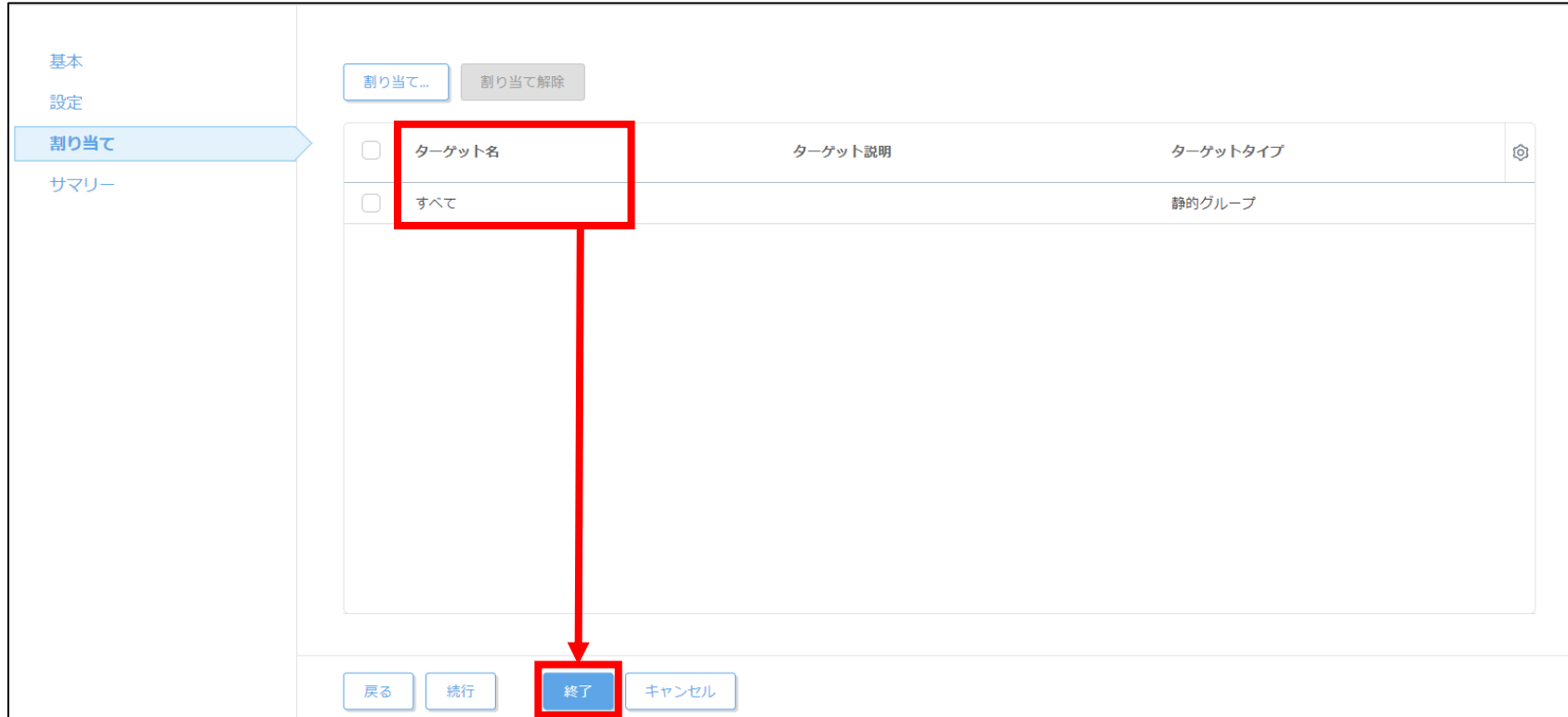
画像6



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(7) 「すべて」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「終了」をクリックします。



	ターゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ
<input type="checkbox"/>	ターゲット名		
<input type="checkbox"/>	すべて		静的グループ

割り当て... 割り当て解除

戻る 続行 **終了** キャンセル

以上で、構築は終了となります。

3. 展開（フロー）

各クライアント端末に展開するフローは以下となります。

事前準備

インストーラーの準備

- ① EMエージェントのインストーラー作成
- ② クライアント用プログラムのインストーラー作成
- ③ 自動アクティベーションのタスク作成

インストーラーの実行

- ④ EMエージェントのインストール
- ⑤ クライアント用プログラムのインストール

確認作業

3. 展開（事前準備）

展開作業を始める前にユーザズサイトより、インストーラーを取得し、外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。

【ユーザズサイト】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/87?site_domain=business

- EMエージェントのインストーラー

「プログラム/マニュアル」

- 「オンプレミス型セキュリティ管理ツール（ ESET PROTECT） 」
- 「ESET Management エージェント」
- 「Windows向け ESET Management エージェント」
- 「プログラム」

- EES/EEAのインストーラー

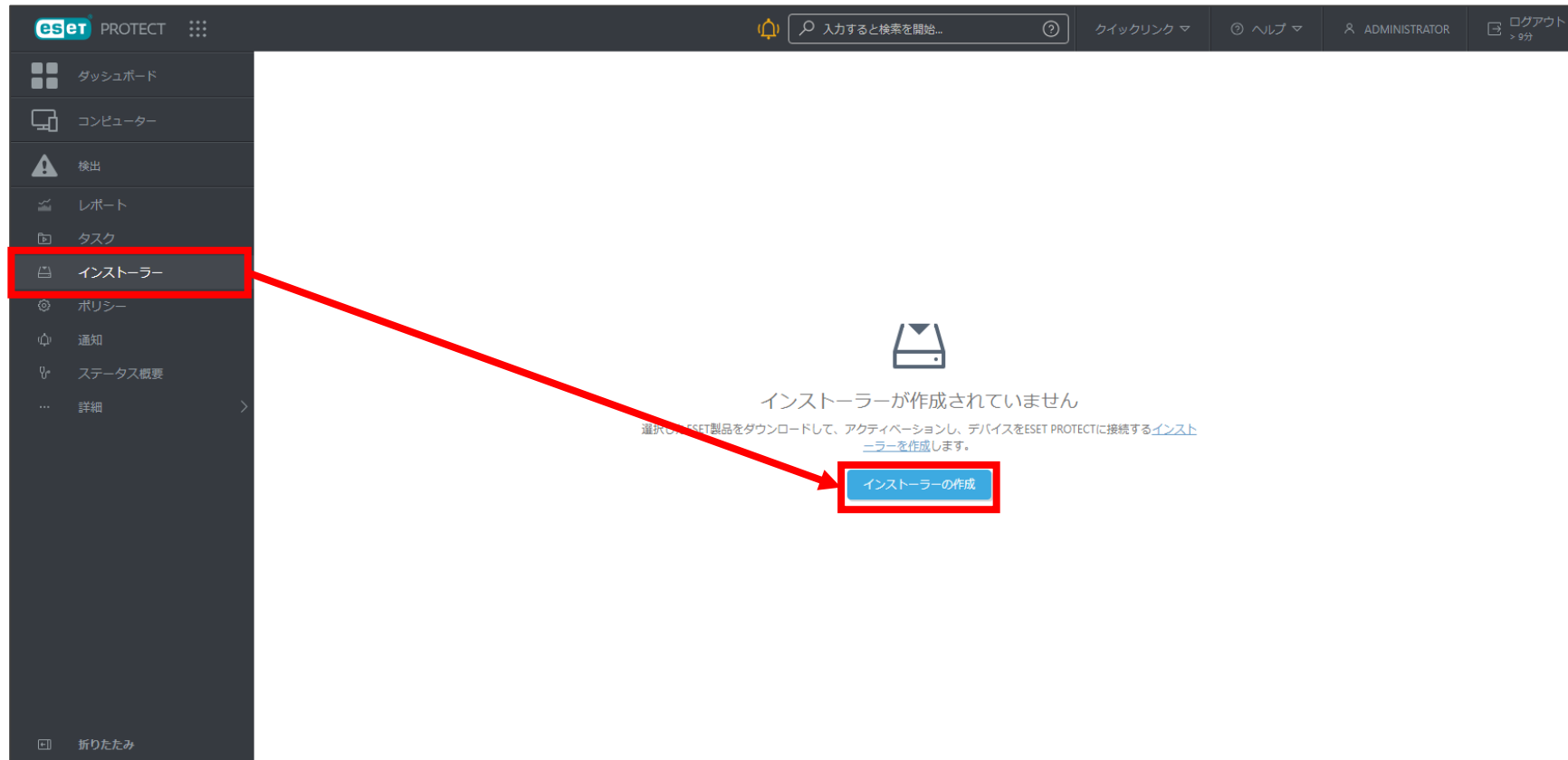
「プログラム/マニュアル」

- 「クライアント用プログラム」
- 「Windows向け」
- 「ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス」
- 「プログラム」 「フルモジュールインストーラー」

3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

(1)EPにログインし、画面左側の「インストーラー」へ進み、「インストーラー作成」をクリックします。



3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

(2) 「配布」では[展開のためにGPOまたはSCCMを使用]を選択します。「ピア証明書」では[ESET PROTECT証明書]を選択して、「ESET PROTECT証明書」に証明書が登録されていることを確認して、「続行」をクリックします。

インストーラーの作成
インストーラー > ESET Management Agent

基本
配布

Windows macOS Linux

配布

① インストーラーのダウンロードまたはESET Remote Deployment Toolの使用
② エージェントの最初の展開(エージェントスクリプトインストーラー)
③ 展開のためにGPOまたはSCCMを使用

コンポーネント

☒ 管理エージェント

製品改善プログラム **推奨**

☒ 製品改善プログラムに参加する ②

親グループ

戻る 続行 終了 キャンセル

インストーラーの作成
インストーラー > ESET Management Agent

基本
配布

サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) ②

ポート
2222

ピア証明書

☒ ESET PROTECT証明書
☐ カスタム証明書

ESET PROTECT証明書

説明 サーバー証明書、
発行者 CN=サーバー認証局、
件名 CN=Agent at *,
製品 Agent、
Sun Jul 24 2022から
Sun Jul 25 2032 まで有効。

証明書パスフレーズ ②

戻る **続行** 終了 キャンセル

3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

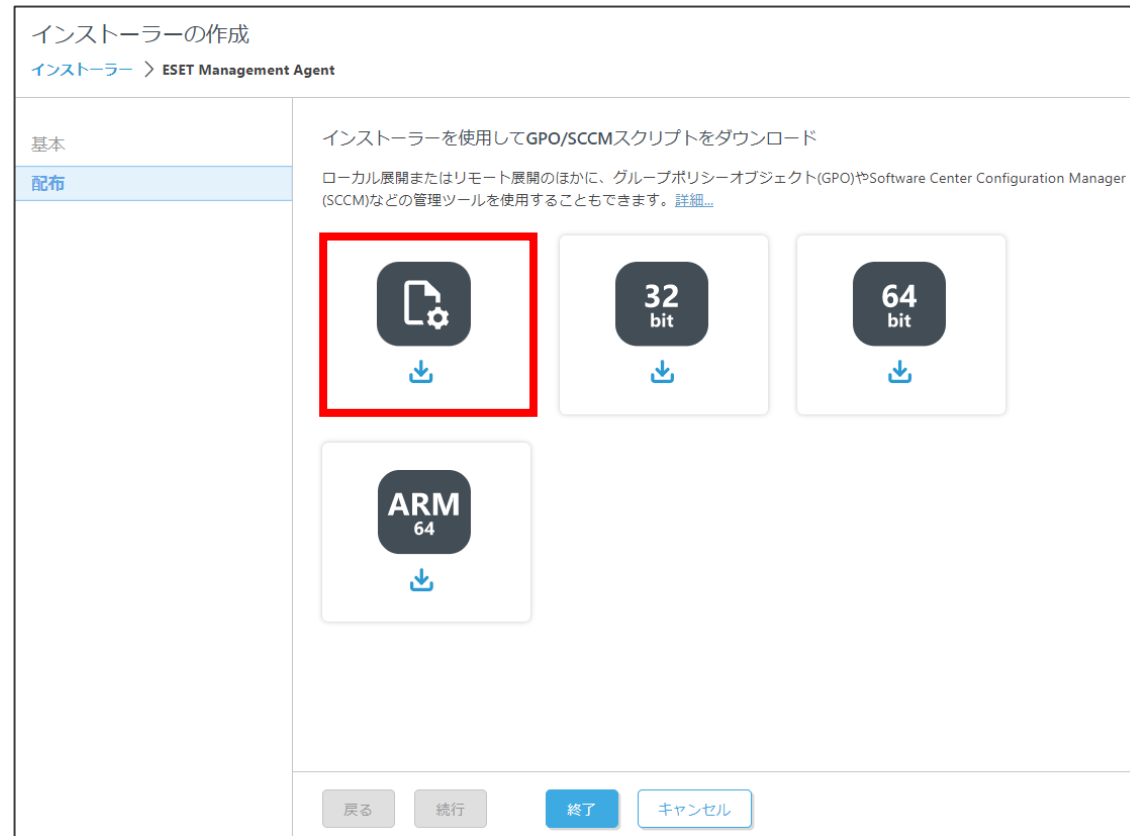
(3) その他、インストーラー作成画面では設定をカスタマイズすることができます。以下の表を参考に必要に応じて設定を行います。

項目	設定内容
親グループ(任意)	所属する静的グループ ※設定しない場合は「LOST+FOUND」に所属します
サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)	ESET PROTECTサーバーのホスト名またはIPアドレス ※ホスト名を設定する場合は、各端末から名前解決が可能である必要があります
ポート	2222
インストーラー名	任意(例：EMエージェントインストーラー)
説明	任意
エージェント設定	任意 ※設定は後からポリシーで変更することも可能です ※作成済みのポリシーを組み込むことも可能です

3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

(4) 「終了」をクリックし、赤枠のアイコン[設定GPO/SCCMスクリプト]をクリックして「install_config.ini」のファイルをダウンロードします。



3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

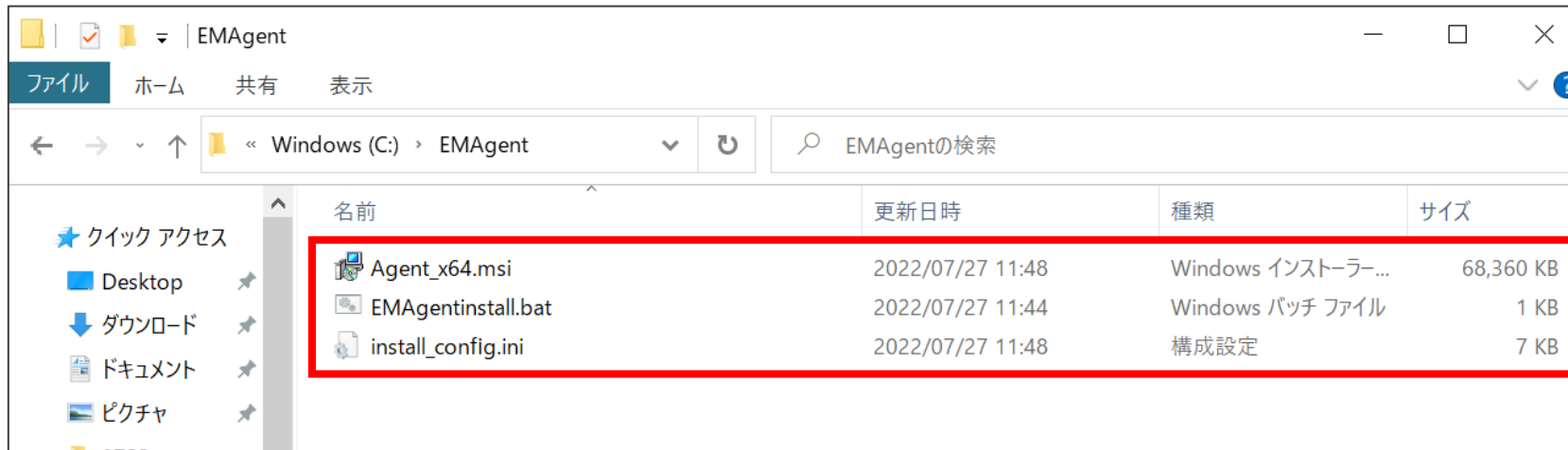
(5) メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。
 (ファイル名例：EMAgentInstall.bat)

※32bit用の場合はコマンド内の「Agent_x64.msi」の箇所が「Agent_x86.msi」になります。

```
msiexec /i Agent_x64.msi /qb!
```

(6) 手順5で作成したバッチファイル、手順4でダウンロードした「install_config.ini」ファイル、事前準備で用意したEMエージェントのインストーラー(Agent_x64.msi)を1つのフォルダーに保存します。

※「install_config.ini」ファイルのファイル名は変更しないでください。



3. 展開（インストーラーの準備）

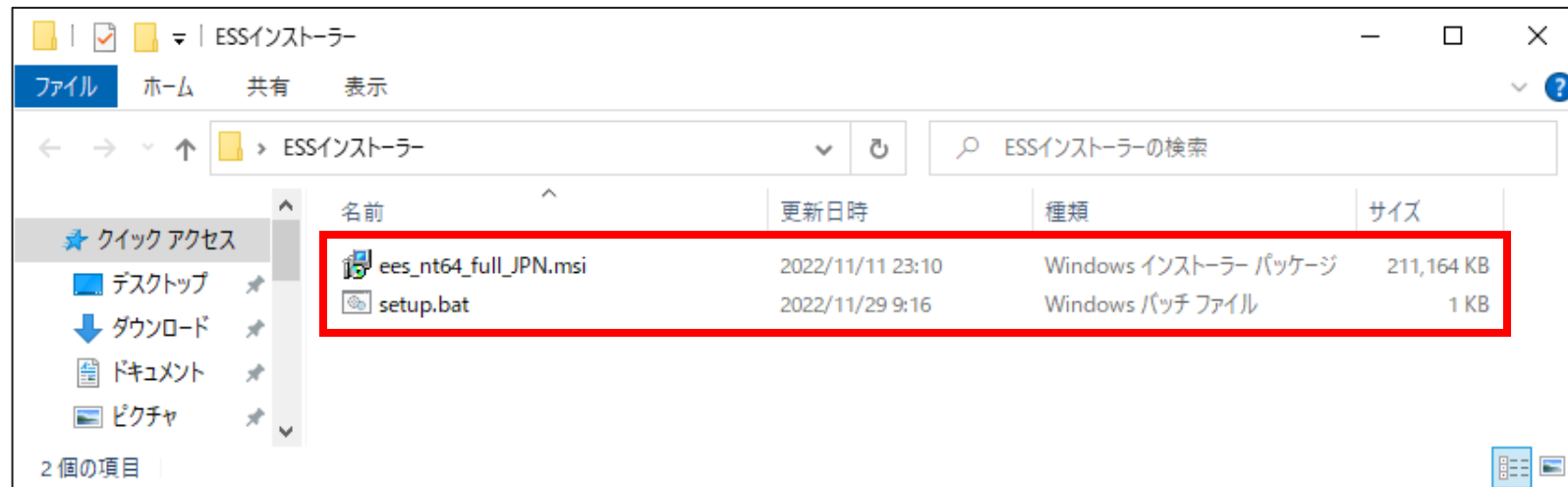
② クライアント用プログラムのインストーラー作成

(1) メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。
 (ファイル名例：setup.bat)

※ 「ees_nt64_full_JPN.msi」の箇所にはクライアント用プログラムのインストーラー名が入ります。
 利用するインストーラー名に合わせて変更してください。

```
msiexec /i ees_nt64_full_JPN.msi /qb! reboot="force" INSTALLED_BY_ERA=1
```

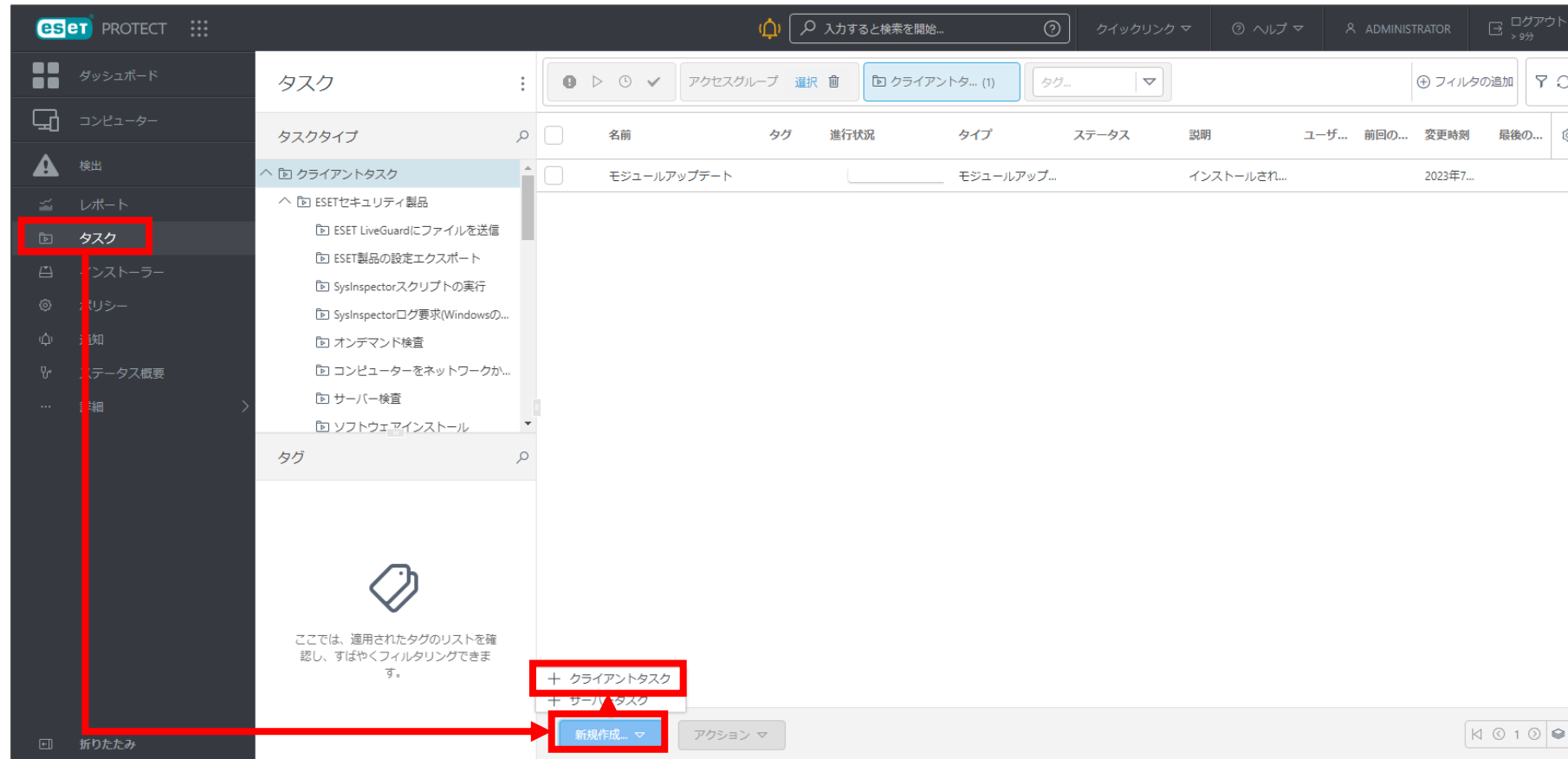
(2) 手順1で作成したバッチファイルと事前準備で用意したクライアント用プログラムのインストーラーを1つのフォルダーに保存します。



3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(1)EPにログインし、画面左側の「タスク」をクリックし、「新規作成」→「クライアントタスク」をクリックします。

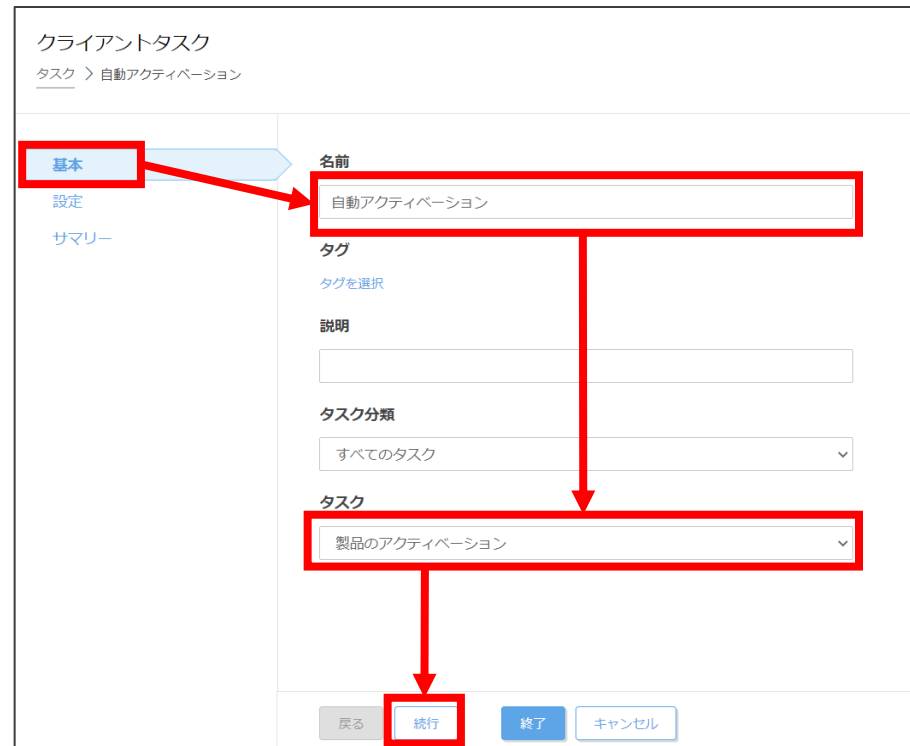


3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(2)「基本」ではタスクの名前を任意に入力し、「タスク」を「製品のアクティベーション」に設定をして、「続行」をクリックします。

※「説明」と「タグ」の設定は任意です。また、タスク分類は「すべてのタスク」で構いません。



クライアントタスク
タスク > 自動アクティベーション

基本
設定
サマリー

名前
自動アクティベーション

タグ
タグを選択

説明

タスク分類
すべてのタスク

タスク
製品のアクティベーション

戻る 続行 終了 キャンセル

3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(3)「設定」ではアクティベーションに使用するライセンスを設定し、「終了」をクリックします。

※使用するライセンスが複数ある場合は、タスクを複数作成してください。

(4)画像4が表示されましたら、「トリガーの作成」をクリックします。

画像3



画像4



3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(5) 「基本」では、トリガーの説明を任意に入力し、「続行」をクリックします。

(6) 「対象」で、「ターゲットの追加」をクリックします。

画像5



新しいトリガーの追加
タスク > 自動アクティベーション

基本

△ 対象

トリガー

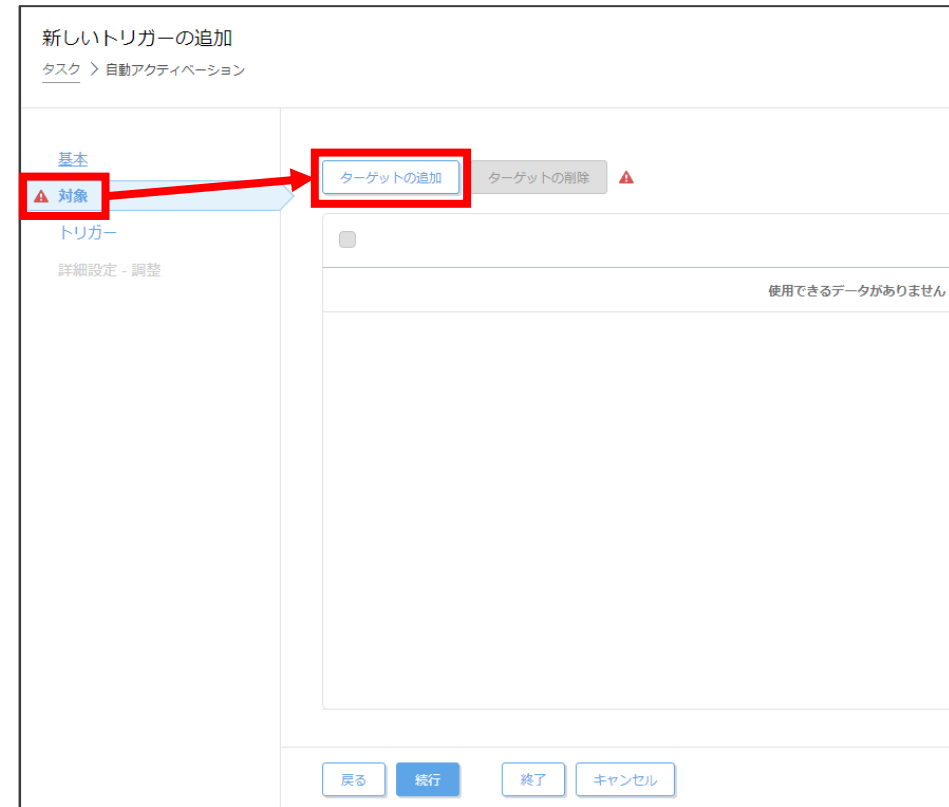
詳細設定 - 調整

トリガー説明

自動アクティベーション

戻る 続行 終了 キャンセル

画像6



新しいトリガーの追加
タスク > 自動アクティベーション

基本

△ 対象

ターゲットの追加

ターゲットの削除

トリガー

詳細設定 - 調整

使用できるデータがありません

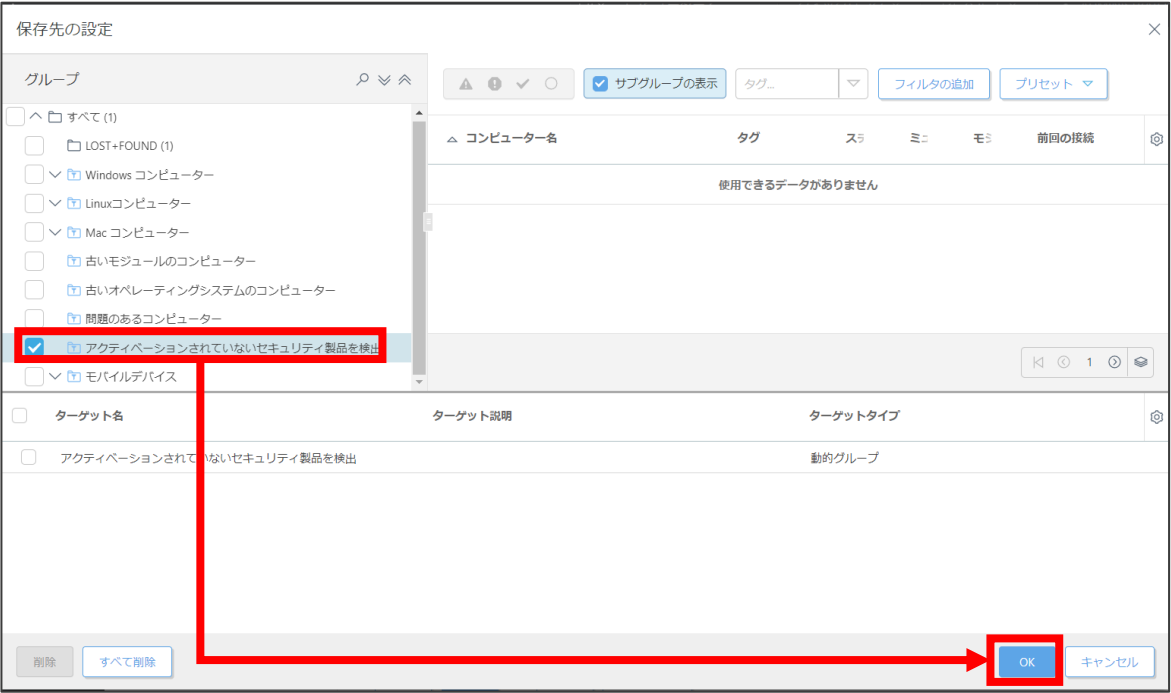
戻る 続行 終了 キャンセル

3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

- (7) 「アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。
- (8) 「アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「続行」をクリックします。

画像7



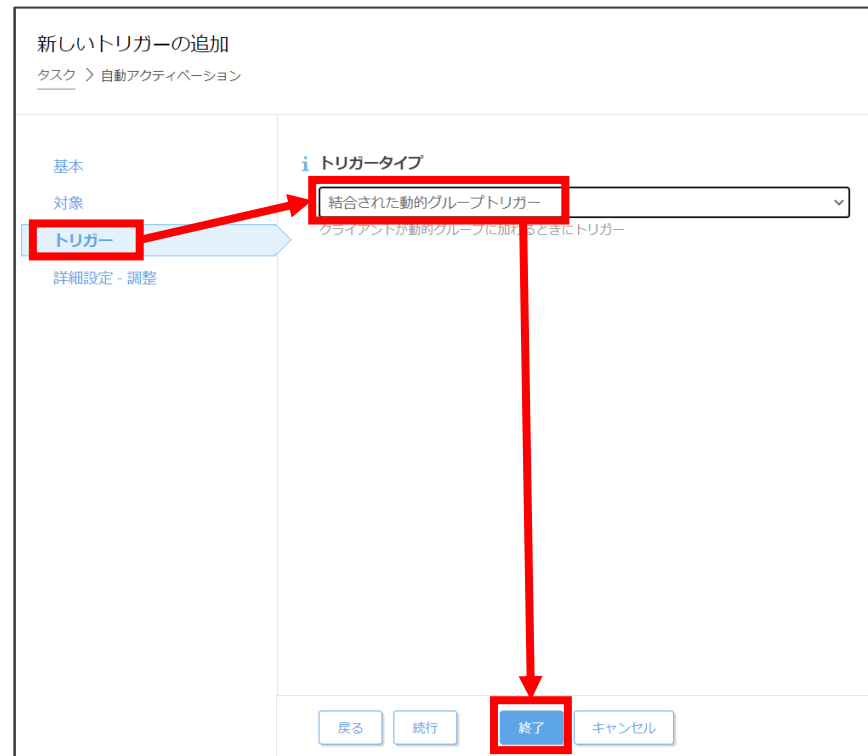
画像8



3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(9) 「トリガー」で、トリガータイプに「結合された動的グループトリガー」を選択し、「終了」をクリックします。



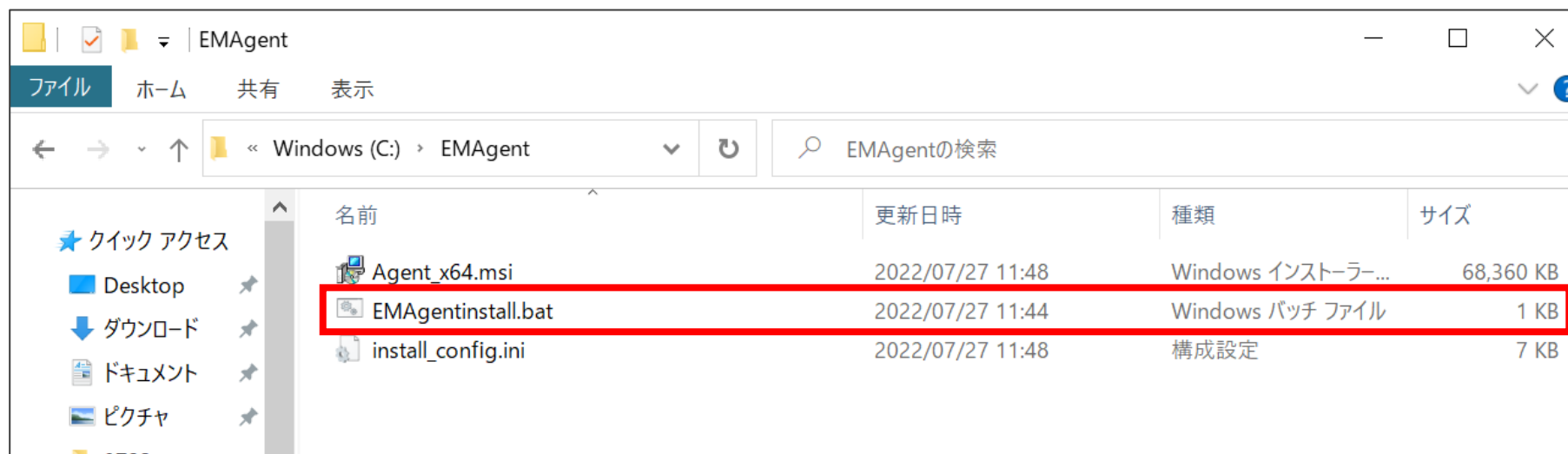
以上で、インストーラーの準備は終了となります。

3. 展開（インストーラーの実行）

④ EMエージェントのインストール

「EMエージェントのインストーラー作成」の作業で作成したEMエージェントのインストーラーを各端末のCドライブにコピーし、コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(EMAgentInstall.bat)をダブルクリックします。

※インストール中に「ユーザーアカウント制御」の画面が出てきましたら、「はい」を選択してください。

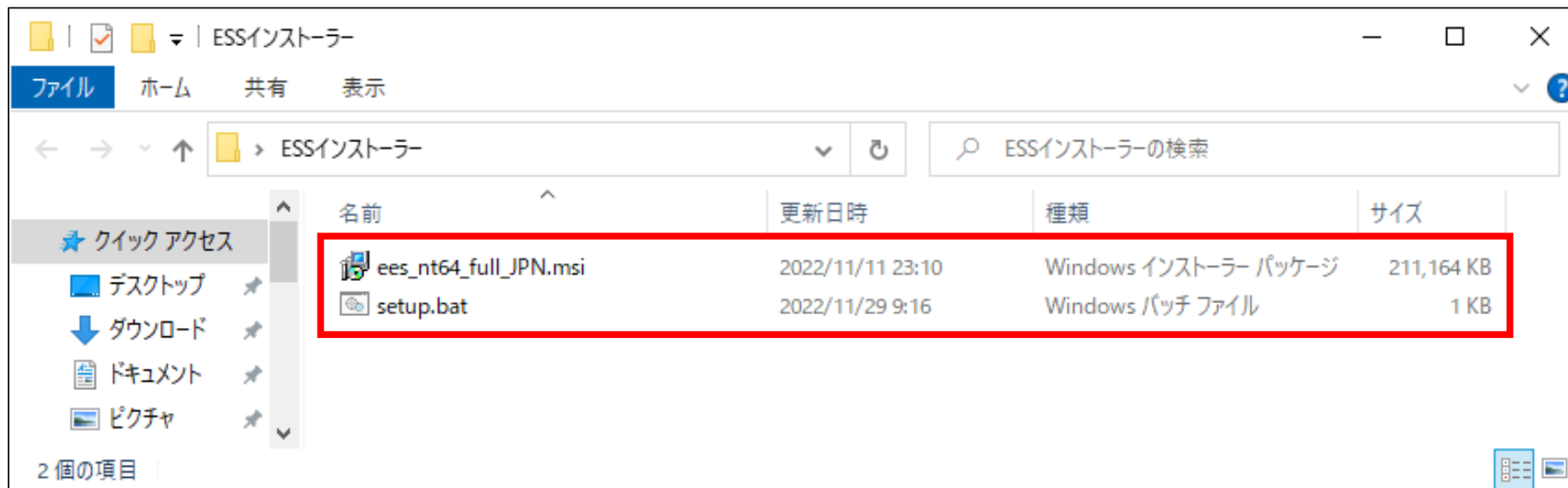


3. 展開（インストーラーの実行）

⑤ クライアント用プログラムのインストール

(1) 「クライアント用プログラムのインストーラー作成」の作業で作成したクライアント用プログラムのインストーラーを各端末のCドライブにコピーし、コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(setup.bat)をダブルクリックします。

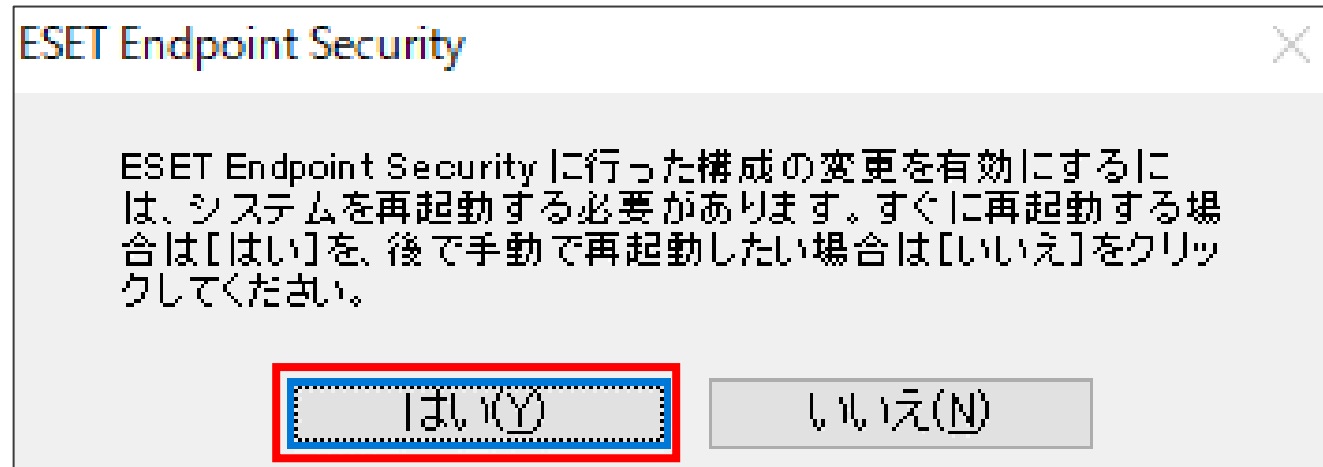
※インストール中に「ユーザーアカウント制御」の画面が出てきましたら、「はい」を選択してください。



3. 展開（インストーラーの実行）

⑤ クライアント用プログラムのインストール

(2)インストールが完了すると、再起動をおこなうかどうかの確認画面が表示されますので、「はい」をクリックして再起動をします。



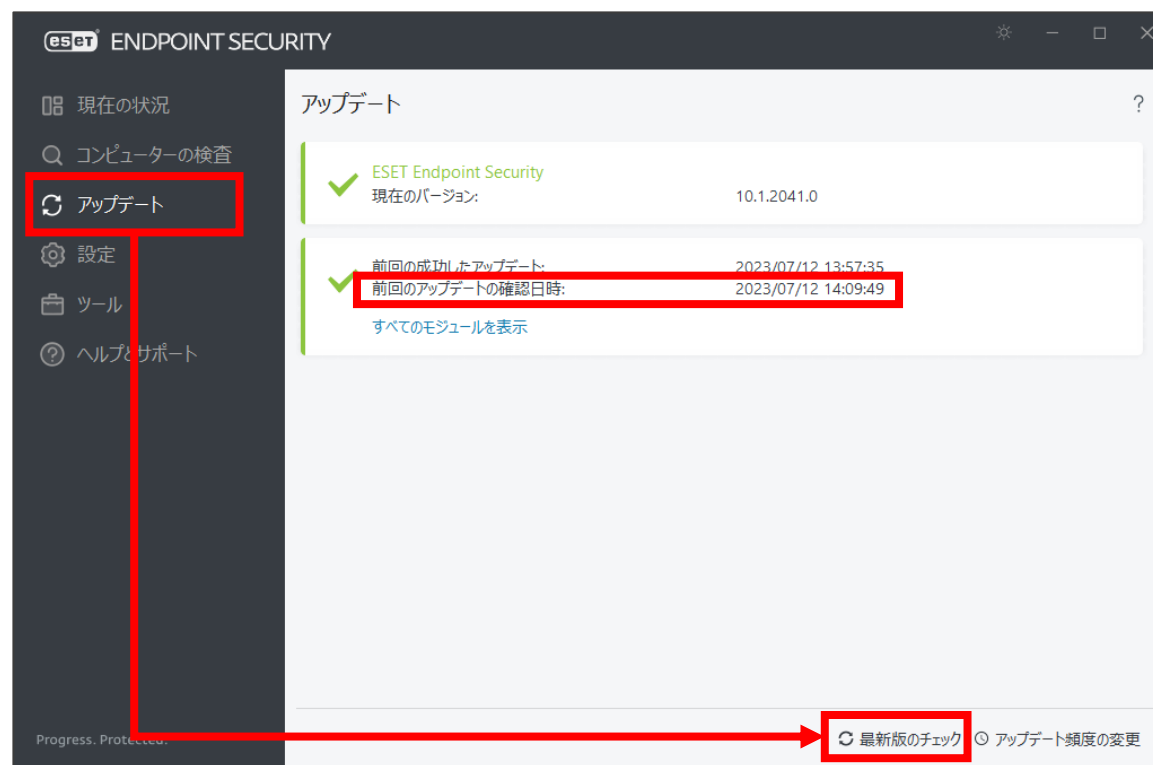
以上で、インストーラーの実行は終了となります。

3. 展開（確認作業）

各端末での確認

- 「インストーラーの実行」の作業を行った端末にて、クライアント用プログラムのメイン画面を開き、画面左側の「アップデート」をクリックし、「最新版のチェック」をクリックしてアップデートできることを確認します。

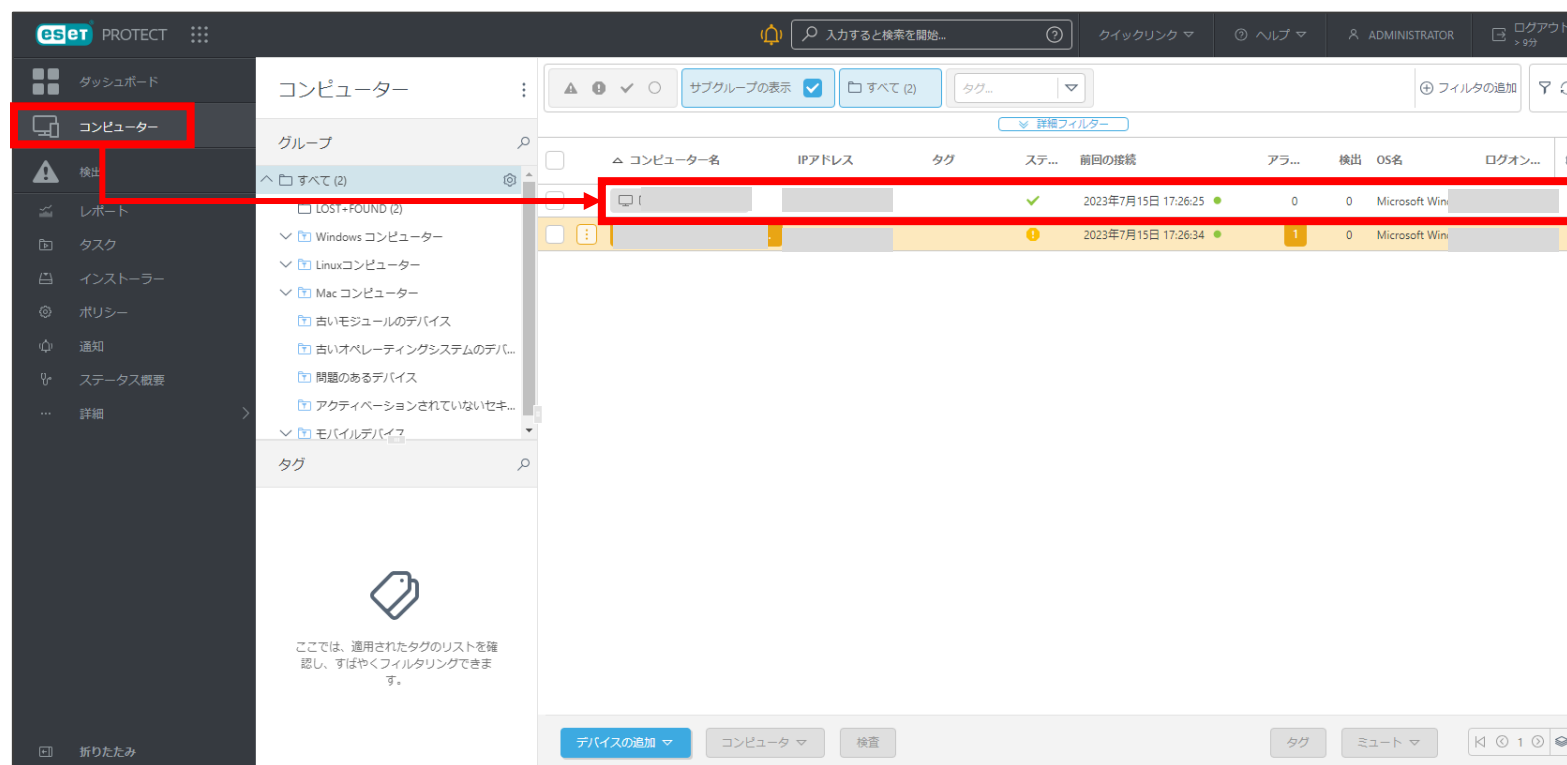
※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



3. 展開（確認作業）

EPでの確認

- EPにログインし、画面左側の「コンピュータ」をクリックし、クライアントの一覧画面に「インストーラーの実行」の作業を行った端末が表示されていることを確認します。



以上で、展開は終了となります。